

2024年度愛玩動物看護学科1年生

# SYLLABUS

# 目 次

## <必修科目>

心理学	1	動物入院管理	19
基礎数学	2	動物内科看護学Ⅰ	20
基礎化学	3	動物形態機能学Ⅰ	21
英語A	4	動物形態機能学Ⅱ	22
英語B	5	動物形態機能学Ⅲ	23
生化学	6	動物形態機能学Ⅳ	24
検査機器総論	7	動物行動学	25
就職講座	8	動物病理学	26
動物愛護・適正飼養関連法規	9	動物感染症学Ⅰ	27
生命倫理・動物福祉	10	動物感染症学Ⅱ	28
人と動物の関係学	11	動物感染症学Ⅲ	29
公衆衛生学Ⅰ	12	微生物学実習	30
公衆衛生学Ⅱ	13	動物愛護・適正飼養実習Ⅰ	31
愛玩動物学Ⅰ	14	動物臨床検査学実習Ⅰ	32
愛玩動物飼養管理	15	動物内科看護学実習Ⅰ	33
動物看護学概論	16	動物形態機能学実習	34
動物臨床看護学総論	17	グルーミング実習Ⅰ	35
動物健康管理	18	動物看護総合実習Ⅰ	36

科目名	心理学	履修時期	1年1期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	2単位	授業時間	30時間
教育目標	理論に裏付けされた質の高い技術を身につけるために必要な、科学的かつ論理的な思考力を育む。人のために尽くす思いやりの心や優しさといった人間性を磨くため、心理学の基礎を学び、人間を理解しようとする際の一助となる視座を得る。				
教育内容	講義、心理テスト、実習などを通して、こころの働きについて学びながら、自己理解、他者理解を深め、コミュニケーションスキルを身につける。				
教科書・教材	プリント				
評価法	実習態度、試験、提出物、出席状況を総合的に評価				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	オリエンテーション	グループワーク	グループワーク（構成的グループエンカウンター）の目的を正しく理解し、積極的に取り組む姿勢を身につける。
2	心理学の歴史	心理学とは	現代心理学の始まりと領域について学ぶ。
3	情動と認知	情動と認知の相互作用	情動と認知の生理学的仮説、その相互作用について学ぶ。
4	記憶	憶える・忘れる	記憶の三つの働きと三段階について学ぶ。
5	行動	行動の生物学的基礎	生得的な適応行動様式と初期経験について学ぶ。
6	学習理論	学習の基本過程 ヒトと動物の学習の違い	レスポデント条件付け、オペラント条件付けについて学ぶ。ヒトと動物の学習の違いについて学ぶ。
7	実習	自己認知度スケール グループワーク	スケールを使い自己理解を深める。グループワークに積極的に取り組み、他者理解を深める。
8	発達理論	エリクソンの発達理論	各発達段階と発達課題について理解する。
9	実習	自我同一性尺度 シャイネス尺度	自我同一性をどこまで確率できているのか把握する。シャイネスの程度を把握する。
10	人格理論	人格とは	特性論、類型論、フロイトとユングの人格理論を学ぶ。
11	精神病の知識	統合失調症、鬱病	自分自身や周囲の人の不調に気づくための知識を身につける。
12	発達障害の知識	自閉スペクトラム症	発達障害を抱える人への対処法や援助法を身につける。
13	ストレスマネジメント		ストレスへの対処法を身につける。
14	実習	コミュニケーションスキルトレーニング	ロールプレイでアサーティブなコミュニケーションスキルを身につける。
15	まとめ	復習	今までの授業内容を復習し、理解を深める。

科目名	基礎数学	履修時期	1年1期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	2単位	授業時間	30時間
教育目標	数学の基礎について再確認するとともに、社会で必要とされる基礎計算技能とライフサイエンスの分野でよく使われる計算技能を習得する。				
教育内容	初歩的な計算方法の復習とライフサイエンスにおける数値の取り扱いや論理的関係について親しみ、考え方を深めていく。				
教科書・教材	プリント				
評価法	定期試験、出席状況（補講の出席率を含む）、授業への参加度				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	計算の基礎	四則計算	各種四則計算の仕方を確認する。 計算の方法やその意味を説明できる。
2		分数・小数（1）	通分・逆数などの計算方法を確認する。 分数・小数の取り扱いができる。
3		分数・小数（2）	割合の理解とその計算ができる。
4		指数・対数	指数・対数の計算方法を確認する。 指数・対数の意味を説明できる。
5		基礎計算のまとめ	これまでに学んだ事を様々に生かせる。
6		有効数字	科学的記数法やその取り扱い方法を理解する。
7	単位、濃度計算	単位（1）	単位の意味を知り、相互変換ができる。
8		単位（2）	濃度の意味を知り、それを活用できる。
9		簡易な統計	平均等、数値の取り扱い方を確認する。 箱ひげ図やグラフが描ける。
10	計算技法の利用	薬品の調製（1）	比例計算の確認と希釈等の概念を理解する。
11		薬品の調製（2）	薬品の調製に必要な計算ができる。
12		投薬量の計算	投薬量が計算できる。
13		点滴の計算	点滴時間などが計算できる。
14	まとめ	今までの復習・応用	比例計算・方程式の利用ができる。
15		今までの復習・応用	今まで学んだことが身についているか確認する。

科目名	基礎化学	履修時期	1年2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	2単位	授業時間	30時間
教育目標	元素記号や元素名を覚え、化合物名、化学式を理解できるようになる。 濃度の計算ができるようになる。 有機化合物の基礎的な知識を修得する。				
教育内容	高校化学の復習を重点的に学習する。 身近な生活化学に触れ、化学への苦手意識をなくす。 また、計算問題にも取り組む。				
教科書・教材	プリント				
評価法	定期試験、小テスト、出席状況				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	物質の構成	物質の構成物 原子の構造と電子配置	多種多様な物質を観察し、それらを整理分類し、物質がさまざまな元素から成り立っていることを理解する。 原子の構造を理解しその粒子の違いにより同位体が存在することを理解する。
2		粒子の結合	原子がどのように結合しており、さまざまな化学結合が存在することを理解する。 また、電気陰性度や分子間力についても理解する。
3			
4	物質の変化	物質と化学反応式 溶液の性質	物質の質量と物質量の関係を理解する。 溶液の種類と濃度、また、溶解の仕組みについても理解する。
5			
6	酸と塩基	酸・塩基 中和反応と塩	酸塩基の定義を学び、水素イオンの関与を学習し、水素イオン濃度とpHを理解する。 酸と塩基が中和して塩と水ができることを学び、塩の水溶液の性質についても理解する。
7			
8	酸化還元	酸化還元	酸化還元の定義を学び、酸化還元反応の区別ができるようになる。 酸化剤や還元剤のはたらきと、その時に起こる化学変化を理解する。
9			
10	無機物質	非金属元素と金属元素	族ごとに単体や化合物の性質を理解する。
11	有機化合物	有機化合物の分類と特徴	アルカンの名称、分子式立体構造と異性体について理解する。 さらに、アルケン、アルキンについても名称、分子式立体構造と異性体について理解する。
12			
13			
14		酸素を含む有機化合物 芳香族化合物	酸素を含む有機化合物(アルコール、エーテル、アルデヒド、カルボン酸、エステル)における官能基による性質の違いを理解する。 芳香族化学物の構造と性質を理解する。
15			

科目名	英語A	履修時期	1年1期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	2単位	授業時間	30時間
教育目標	グローバル化する国際社会に対応するため、質の高い英語力と幅の広い国際教養を身につける。				
教育内容	専門的な知識や技能を伝えるための実践的な英語力を育成する。 また、英語による表現力を養うため、TOEIC 演習を行うとともに国際教養の涵養に努める。				
教科書・教材	TOEIC テスト書き込みノート 入門編 新形式に対応！				
評価法	定期試験、小試験、授業態度（授業への参加度を含む）				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	英語表現	発音・筆記体の理解	英語特有の発音を理解し、演習する。筆記体の基本を理解する。
2	英語表現	筆記体演習 1	筆記体による英語表現演習 1
3	英語表現	筆記体演習 2	筆記体による英語表現演習 2
4	英語表現	品詞のまとめ・文の種類	品詞と文の理解、TOEIC 演習、国際理解演習
5	英語表現	名詞	名詞による英語表現、TOEIC 演習、国際理解演習
6	英語表現	代名詞	代名詞による英語表現、TOEIC 演習、国際理解演習
7	英語表現	動詞 1	動詞による英語表現 1、TOEIC 演習、国際理解演習
8	英語表現	動詞 2	動詞による英語表現 2、TOEIC 演習、国際理解演習
9	英語表現	形容詞・副詞	形容詞・副詞による英語表現、TOEIC 演習、国際理解演習
10	英語表現	助動詞	助動詞による英語表現、TOEIC 演習、国際理解演習
11	英語表現	前置詞	前置詞による英語表現、TOEIC 演習、国際理解演習
12	英語表現	まとめテスト 1	TOEIC 実践テスト演習 1、国際理解演習
13	英語表現	まとめテスト 2	TOEIC 実践テスト演習 2、国際理解演習
14	国際理解 1	世界と日本 1	最新データによる世界と日本を理解するための演習を行う。
15	国際理解 2	世界と日本 2	最新データによる世界と日本を理解するための演習を行う。

科目名	英語 B	履修時期	1年4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	2単位	授業時間	30時間
教育目標	生成人工知能 (AI) の出現という革命ともいえる中で、語学は AI にまかせてという考えもあるかも知れないが、言語(英語も)は人間の思考の手段、自分で習得しなければならない。思考が止まると、正しく考え、判断し、行動できない。医療英語を通して思考していく。				
教育内容	医療英語を通して、「読む、書く、聞く、話す」の運用能力を高め、思考する事で、Communicatin 能力を養う。				
教科書・教材	English for Students of Veterinary Science 獣医学系学生のための総合英語				
評価法	定期試験、出席状況、授業態度				
成績評価	80 点以上を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可で表し、60 点未満は不可とする。				

授業内容 (シラバス)

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	Introduction	Pop Quiz	基礎を復習する
2	Part 2	Chapter 5	Understanding Your Dog's Behavior 犬の行動を理解しよう
3		5 文型について	主語、動詞、補語、目的語
4		Chapter 6	Pet Lovers: Japan's Evolving Relationship with Dogs and Cats 日本のペット—犬と猫と人間の現状
5		品詞について	名詞、動詞、形容詞、副詞 etc. を理解する
6		Chapter 8	The Horse in Veterinary Medicine ウマの獣医—その魅力と課題
7		関係代名詞について	主格、所有格、目的格 (形容節の読み方)
8		Chapter 9	Caring for Aging Dogs: Coco's Case 老いていく犬の世話をする—ココの場合
9		準動詞について	不定詞、動名詞、現在分詞、過去分詞、分詞構文
10	Part 3	Chapter 11	The Emerging Challenge of Zoonoses 人獣伝染病という新たな課題
11		Chapter 14	Feline AIDS: Can Cats Catch AIDS? 猫エイズ—猫もエイズにかかるのか?
12		Chapter 15	What Does an Embryologist Do? エンブリオロジストとは何をする人か?
13	医学英語	Medical Terminology	プリント
14	医療英語	P. 98	医療・獣医関係の接頭辞・接尾辞・語根
15	まとめ		

科目名	生化学	履修時期	1年3期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	生物を科学的・体系的に理解するために必要な化学的知識と概念を理解し、それらを説明することができるようになる。 生物現象への理解を深め、生化学的な物の見方や考え方を学び、基礎的な生物学的事象について理解する。				
教育内容	化学知識の確認のもと、生体の構成成分である糖質、タンパク質、脂質などの性質について学習する。 また生体内ではたらくビタミン、ホルモン、酵素についても学習する。				
教科書・教材	プリント				
評価法	定期試験、小テスト、出席状況				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	生化学を学ぶにあたって	生体の構成 個体を構成する 細胞、組織、器官	生体の構成成分について理解する。 人体の構成(器官、組織、細胞、細胞小器官)について理解する。
2			
3	糖類	糖質とは 糖質の代謝	糖質の構造と機能(単糖類、二糖類、多糖類、アルドース、ケトースなど)について理解する。 糖質の代謝①(解糖系、クエン酸回路など)について理解する。
4			
5	タンパク質	タンパク質とは タンパク質の代謝	タンパク質・アミノ酸の構造と機能(ペプチド結合、 $\alpha$ -ヘリックス、 $\beta$ -シート)について理解する。 アミノ酸の代謝(アミノ基転移反応、脱アミノ反応、アンモニア、尿路回路)について理解する。
6			
7			
8			
9	脂質	脂質とは 脂質の代謝	脂質の構造と機能(脂質の定義、単純脂質、複合脂質)について理解する。 脂質の代謝(脂肪酸合成、脂肪酸分解( $\beta$ 酸化)、ケトン体)、脂質の代謝(コレステロール合成・分解、リポタンパク質代謝)について理解する。
10			
11	ホルモン	内分泌器官と主なホルモン	内分泌器官から分泌するホルモンの種類、構造、性質、生理機能を理解する。
12	ビタミンと補酵素	ビタミンとは ビタミンの種類と作用	ビタミンの種類、構造、性質、生理機能を理解する。
13	酵素	酵素とは 酵素の種類とはたらき	酵素の種類とそのはたらきを理解する。
14	核酸	遺伝情報の成り立ち	核酸の構造、タンパク質の合成と分解(DNA、RNA、転写、翻訳など)について理解する。
15	水と無機質	水と無機質の役割	体内における水の存在とはたらきを理解する。 無機質についても生体内ではたらきを理解する。

科目名	検査機器総論	履修時期	1年1期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	基礎実習に必要な関連分析機器、検査機器の取り扱い。				
教育内容	主に検査・実習で使用する機器について、原理と注意点を中心に講義をします。実際に機器を取り扱いながら、講義を進めていくことで、より理解を深めていきます。				
教科書・教材	プリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト第3版				
評価法	定期試験、出席状況による加点				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	一般機器・器具	一般機器・器具の取り扱い	主な取扱いと注意事項を理解する。
2	一般機器・器具	単位変換	単位変換とマイクロピペットの取り扱い方を理解する。
3	秤量装置	電子天秤・精密天秤・体重計	天秤の原理、構造を理解する。
4	攪拌装置	攪拌機、振盪機	攪拌機、振盪機の原理、構造を理解し、取り扱い方を理解する。
5	遠心分離装置	遠心分離機(低速・高速)	遠心機の原理、構造を理解し、用途、取り扱い方を理解する。
6		遠心分離機(微量高速)	
7	滅菌装置	オートクレーブ	オートクレーブの構造、滅菌条件、用途、取り扱い方を理解する。
8		乾熱滅菌器	乾熱滅菌器の滅菌条件、用途、取り扱い方を理解する。
9	まとめ	演習	復習問題
10	顕微装置	生物顕微鏡、実体顕微鏡、倒立顕微鏡	顕微鏡の種類、原理、構造を理解する。
11		生物顕微鏡	顕微鏡の構造、取り扱い方を理解する。
12	検査装置	心電計	心電計の構造、用途を理解する。
13		超音波装置	超音波装置の構造、用途を理解する。
14		X線装置	放射線の基礎知識、X線撮影装置の構造、用途を理解する。
15	まとめ	演習	演習問題

科目名	就職講座	履修時期	1年2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	自己理解・他者理解を深め、社会人として求められるコミュニケーションスキルとストレスマネジメントスキルを身につける。				
教育内容	グループワークや心理テストを通して、自分のコミュニケーションスタイルやストレスとの向き合い方を見直し、社会人として必要なスキルを身につける。				
教科書・教材	三訂版 アサーション・トレーニングさわやかに自己表現のために 日本精神技術研究所 平木典子 著				
評価法	試験、出席状況、授業態度および取り組み姿勢を総合的に評価する。				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	オリエンテーション	グループワークを進めるために	グループワークの意義を理解し、積極的に取り組む姿勢を身につける。
2			
3	自己理解・他者理解	エゴグラムから分かること	エゴグラムを用いてグループワークを行い、自己理解・他者理解を深める。
4			
5	コミュニケーション	聞き方・話し方	自分のコミュニケーションスタイルを振り返り、課題を見つけ出す。
6			
7		アサーション	アサーティブなコミュニケーションスキルを身につける。
8			
9			
10			
11	ストレスマネジメント	事例から学ぶストレスマネジメント	事例から対処法を学ぶ。
12			
13		私のストレスマネジメント	自分は何のような場面でストレスを感じやすいのかを知り、対処法を身につける。
14			
15	まとめ	復習	

科目名	動物愛護・適正飼養関連法規	履修時期	1年3期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	動物医療について法律学の立場から学問的に探求することを通じて、基本的知識や多様な理論を理解し、合理的な考察力と冷静な判断力、さらに論理的思考力を養う。				
教育内容	動物医療に関する法的理解について、各論点の検討を行いつつ習得することとする。基本的知識を的確に把握した上で、現在の動物を取り巻く人間社会の対応や問題となっている諸課題の要点、その解決に向けた考え方の道筋を各自で考察し、クラス全体で検討する。				
教科書・教材	授業内で配布するレジュメ集およびプリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻				
評価法	定期試験の得点および授業時の積極性を総合的に評価する。				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	ガイダンス	講義内容・評価方法の確認	本講義の目的と学習内容の意義を確認する。各自の進路と本講義の関係を理解する。
2	アイスブレイク	各学生の関心事の確認	講義内容に関連する倫理的・法的諸問題を各自の視点から確認する。
3	イントロダクション	国民の動物に対する認識	統計資料から一般国民の愛玩動物に対する意識を確認する。社会一般的な認識と各自が有する動物観の差異を認識する。
4	動物愛護論1	東洋と西洋の動物観	東洋と西洋の動物観およびその違いを確認する。動物と人間社会の関わりの変遷について歴史的視点から学習する。
5	動物愛護論2	動物愛護運動とアニマル・ライツ	動物愛護運動の必要性とその展開について確認する。アニマル・ライツの概念について、その意義を学習する。
6	動物愛護論3	動物と人間の関係および動物に関する倫理問題	動物と人間の関係について現代的視点から確認する。現代社会における動物に関する倫理問題について学習する。
7	動物関係法令1	動物と法律との関係	わが国の法体系と動物関係法の位置付けについて確認する。獣医師と動物看護師の職務の違いを理解し、適切な診療に従事する責務と規制について「獣医師法」および「獣医療法」を学習する。
8	動物関係法令2	動物愛護管理法①	「動物の愛護及び管理に関する法律」の制定・立法趣旨・近年の改正状況について学習する。
9	動物関係法令3	動物愛護管理法②	「動物の愛護及び管理に関する法律」の重要条文についての内容および法解釈について学習する。
10	動物関係法令4	動物愛護管理法③	「動物の愛護及び管理に関する法律」の重要条文についての内容および法解釈について学習する。
11	動物関係法令5	動物愛護管理法④	「動物愛護管理法」の規程に関連する政省令等の内容について学習する。
12	動物関係法令6	家庭飼育動物関係法令	「狂犬病予防法」、「愛玩動物用飼料の安全性の確保に関する法律」、「身体障害者補助犬法」の他、家庭動物飼養基準等の諸法令に示される家庭動物の飼養基準について学習する。
13	動物関係法令7	野生動物関係法令	「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」等の野生動物の保護に関する法令について学習する。
14	現代的課題と展望	動物愛護の倫理的考察	動物医療の倫理と法における現代的課題と展望について考察し、解決に向けた具体的な提案を検討する。
15	まとめ	講義全体の総括	全講義内容についての総復習(質疑応答を含む)を行い、総合的理解度を確認する。

科目名	生命倫理・動物福祉	履修時期	1年4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	生命倫理学上の明確な正解のない諸問題について、学問的に探求することを通じて、基本的知識や多様な理論を理解し、合理的な考察力と冷静な判断力、論理的思考力を養う。また優れたコミュニケーション能力(発表能力および文章表現力)も併せて修得する。				
教育内容	本授業は、生命倫理学に関する基本的知識の習得および法的问题の考察を行った上で、生命倫理学における個別具体的諸問題の検討を行う。各学生が関心を持つ複数の共通テーマを取り上げ、グループ発表を行い、クラス全体で討論を行い、クラス全体で討論を行うことで、多角的な視点から各テーマを掘り下げて学習する。さらに、各学生が扱ったテーマを小論文にまとめる作業を通じて、さらに理解を深めることとする。				
教科書・教材	授業内で配布するレジュメ集およびプリント				
評価法	出席および授業時の積極性を平常点として2割程度、授業時に行われる課題発表およびレポートの内容を3割程度、定期試験の得点を5割程度の配分にて、総合評価を行う。				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	ガイダンス	講義内容、評価方法の確認	本講義の目的と学ぶ意義を確認する。 各自の進路と本講義の関係を理解する。
2	課題発表についての説明	課題発表の形式・内容の説明	課題発表の目的を確認する。 課題内容の論点を整理した上で理解する。
3	生命倫理学①	倫理学導入	生命倫理学とは何かについて理解する。
4	課題発表準備①	発表内容・方針の確認	各テーマを担当する複数の班を形成する。 各テーマの内容や主要な論点を検討する。
5	生命倫理学②	思考実験Ⅰ・妊娠中絶	論理的問題の所在を確認し、考察する。 論理的思考方法を習得する。
6	課題発表準備②	課題発表に向けた準備	各班内で論点の検討方法を確認する。 各班内で多様な意見を出し合い共有する。
7	課題発表準備③	中間発表の実施	各班15分程度のプレゼンテーションを行う。 論点設定や検討方法の不備を全体で確認する。
8	課題発表準備④	課題発表に向けた準備	各班内で論点及び考察方法等の再検討を行う。 発表に備えて資料等を整理し、再検討する。
9	生命倫理学③	思考実験Ⅱ・安楽死	論理的問題の所在を確認し、考察する。 論理的思考方法を習得する。
10	課題発表準備⑤	課題発表に向けた準備	各班内で論点等の再検討を行う。 発表に備えて資料等を整理、検討する。
11	課題発表①	第1課題：遺伝子組換え作物 第2課題：再生医療技術	各自の視点で課題内容を考察する。 論理的問題についてクラス全体で討論する。
12	課題発表②	第3課題：生殖補助医療 第4課題：治験 (医薬品の人体実験)	各自の視点で課題内容を考察する。 論理的問題についてクラス全体で討論する。
13	課題発表③	第5課題：動物実験 第6課題：動物愛護と災害時避難	各自の視点で課題内容を考察する。 論理的問題についてクラス全体で討論する。
14	文章作成演習	レポート作成	全体構成、文章表現、考察内容を検討する。 私見について熟考する。
15	まとめ	講義全体の総括	生命倫理学の思考方法を確認する。 諸問題についての検討内容を確認する。

科目名	人と動物の関係学	履修時期	1年2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	動物看護にあたるうえで必要となる人と動物の深い絆を理解する。 人間の福祉の専門家らと協同して取り組むべき社会問題について理解する。愛玩動物が人に与える恩恵と高齢飼い主が抱える飼育の問題について理解する。人と動物の良好な関係を心理学的および社会的側面から理解する。				
教育内容	動物が人間社会で果たしている役割や、その背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻				
評価法	定期試験、小テスト、授業態度(出席率を含む)				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	人間と動物の関わりの歴史		動物の飼養・利用の歴史について理解する。
2			
3			
4			
5	現代の人と動物の関わり		動物の飼養と利用の現状について理解する。
6			
7	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育		動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育の目的と内容について理解する。 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育に使用される動物の公衆衛生的適性、行動学的適性について理解する。
8			
9			
10	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育		動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育に対する動物病院や愛玩動物看護師の関わりについて理解する。 学校飼育動物の目的や実態、愛玩動物看護師の関わりについて理解する。
11			
12			
13	人間と動物の関わり		動物との接触が人間に与える身体的・心理的影響について理解する。
14	人間の福祉と愛玩動物の関わり		動物の虐待と対人暴力の連動性に関する基礎知識について理解する。 多頭飼育問題について理解する。 愛玩動物が子どもや高齢者に与える恩恵及び人間の加齢に伴って飼養困難になる様々な事情について理解する。
15			

科目名	公衆衛生学 I	履修時期	1年 1,2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	動物看護業務に活用することを目的とした基礎的な衛生学を修得し、獣医療における感染予防対策を学ぶ。また、獣医療を通して社会の公衆衛生の保全・向上に努める。動物の健康に影響を与える要因についてヒトの公衆衛生と対比しながら、予防衛生に関する実践力を養う。				
教育内容	総論では公衆衛生の定義と疫学を学習し、集団の抱える問題や問題発生予防について、観察・整理・推量する能力を身につける。各論ではヒトの公衆衛生保全・向上を目的とした公衆衛生行政・法規について解説し、動物性食品を含む食品の衛生、環境問題について講義を行う。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 5巻, プリント				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上 80点未満を良、60点以上 70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容 (シラバス)

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	総論	公衆衛生学概論と分類	公衆衛生の定義を理解する。
2		疫学	疾病・死亡の指標、疫学研究について理解する。
3			
4	感染と流行	感染の成立	感染とは、感染成立の三大要因、感染経路、人獣共通感染症の定義について理解する。
5		洗浄・消毒(殺菌)・滅菌	機器の効能・特徴について理解する。
6			薬剤、薬剤耐性菌について理解する。
7			獣医療で活用する実践的な衛生管理方法を身につける。
8	食品衛生	食品衛生行政と関連法規	食品衛生行政・関連法規について理解する。
9		食中毒	細菌性・ウイルス性・化学性食中毒について理解する。
10		動物性食品の衛生	動物性食品の衛生基準・食品の保存方法について理解する。
11	環境衛生	地球規模の環境問題	主要な地球環境問題と行政・関連法規について理解する。
12		公害	主要な公害と行政・関連法規について理解する。
13		水の衛生	上水道と下水道の安全管理行政・関連法規について理解する。
14		廃棄物問題	獣医療で遵守すべき廃棄物処理について理解する。
15	まとめ		

科目名	公衆衛生学Ⅱ	履修時期	1年4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	動物看護業務に活用することを目的とした基礎的な衛生学を修得し、獣医療における感染予防対策を学ぶ。また、獣医療を通して社会の公衆衛生の保全・向上に努める。動物の健康に影響を与える要因についてヒトの公衆衛生と対比しながら、予防衛生に関する実践力を養う。				
教育内容	総論では獣医公衆衛生の定義と行政・関連法規を学習することで、獣医療従事者としてヒトの公衆衛生保全を担う目的と知識を修得します。 各論ではヒトの公衆衛生保全・向上を目的とした、人獣共通感染症を含む代表的な感染症の症状・病因・伝播様式・予防について講義を行う。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻・5巻、プリント				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標	
1	総論	獣医公衆衛生行政と関連法規	獣医公衆衛生の目的と、近年の獣医公衆衛生に関する国際的な取り決めを理解する。	
2			ヒトの公衆衛生保全を担う獣医公衆衛生行政と関連法規の概要を理解する。	
3	感染症	細菌性	細菌の基本構造と分類について理解する。	
4			代表的な細菌性感染症の病原体・伝播様式・予防・関連法規について理解する。	
5				
6				
7				真菌性
8			リケッチア クラミジア	代表的なリケッチア、クラミジア感染症の病原体・伝播様式・予防について理解する。
9		プリオン	代表的なプリオン病の病原体・伝播様式・予防・関連法規について理解する。	
10		ウイルス性	ウイルスの基本構造と分類について理解する。	
11			狂犬病の病原体・伝播様式・予防、世界の流行状況について理解する。狂犬病予防法に基づいて、犬の飼育者に向けた狂犬病蔓延防止を図る知識と助言方法を修得する。	
12			代表的なウイルス性感染症の病原体・伝播様式・予防・関連法規について理解する。	
13				
14				
15		まとめ		

科目名	愛玩動物学 I	履修時期	1 年 1 期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1 単位	授業時間	30 時間
教育目標	伴侶動物の起源・分類・習性・生理・食性等の理解を深める。				
教育内容	伴侶動物（特に犬・猫）を理解することで、接触態度をどのように変化させたらよいかを考え、動物看護に応用させる。				
教科書・教材	図鑑 世界の犬 純血 212 種、プリント				
評価法	出席状況、定期試験				
成績評価	80 点以上を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可で表し、60 点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	伴侶動物の起源	分類・歴史	伴侶動物の起源について理解を深める。
2	伴侶動物の起源	分類・歴史	伴侶動物の起源について理解を深める。
3	伴侶動物の特徴①	骨格筋	骨格筋について学び、動物種で違いを理解する。
4	伴侶動物の特徴①	骨格筋	骨格筋について学び、動物種で違いを理解する。
5	伴侶動物の特徴②	外形上の特徴	外形について学び、動物種で違いを理解する。
6	伴侶動物の特徴②	外形上の特徴	外形について学び、動物種で違いを理解する。
7	伴侶動物の特徴③	感覚器	感覚器について学び、動物種で違いを理解する。
8	伴侶動物の特徴③	感覚器	感覚器について学び、動物種で違いを理解する。
9	伴侶動物の特徴④	歯科	歯科について学び、動物種で違いを理解する。
10	伴侶動物の特徴④	歯科	歯科について学び、動物種で違いを理解する。
11	伴侶動物の行動①	食性・習性	食性・習性について学び、動物種で違いを理解する。
12	伴侶動物の行動①	食性・習性	食性・習性について学び、動物種で違いを理解する。
13	伴侶動物の行動②	コミュニケーション	コミュニケーションについて学び、動物種で違いを理解する。
14	伴侶動物の種類	動物種と補助犬	代表的な動物種と補助犬について学ぶ。
15	まとめ		

科目名	愛玩動物飼養管理	履修時期	1年3期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	愛玩動物飼養管理士資格取得				
教育内容	愛玩動物飼養管理士資格取得に向け、愛玩動物についての理解、社会活動、法令についての理解を深める。				
教科書・教材	愛玩動物飼養管理士2級テキスト、プリント				
評価法	出席状況、模擬試験、定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	愛玩動物飼養管理士試験対策	愛玩動物飼養管理士	資格取得に向け、愛玩動物についての理解、社会活動、法令についての理解を深める。
2		生命倫理・動物福祉	
3		動物の体の仕組みと働き I	
4			
5		動物の遺伝と繁殖生理 I 動物の行動としつけ	
6			
7		動物愛護・適正飼養関連法規	
8			
9		愛玩動物学	
10			
11		人と動物の関係学	
12			
13		動物生活環境学	
14			
15		ペット関連産業概論	

科目名	動物看護学概論	履修時期	1年1期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	獣医療を原理的・本質的に理解し、動物看護を探索し創造する基盤を養うことを目的とする。動物看護の基盤となる主な概念を学び、看護の対象となる動物と飼い主の生活を理解するとともに、獣医療の仕組み及び愛玩動物看護師の役割・機能について学習する。				
教育内容	総論では獣医療および動物看護の歴史・概念を学習することで、社会における獣医療従事者の担う役割を学ぶ。各論では動物看護師が動物臨床現場で実践することを想定した、看護過程の一連のプロセス（アセスメント、看護問題の明確化、看護計画、実施、評価）を理解し、事例展開を行うことで、看護実践に活用するための方法を学ぶ。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻				
評価法	出席状況、レポート、定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	総論	医学と看護の歴史	フローレンスナイチンゲールの業績から、看護の起源と概念を学ぶ。
2		獣医療の歴史・倫理	ヒト社会における動物観の遷り変りと、獣医療の歴史と概念を学ぶ。
3		動物看護の歴史・関連団体	日本における動物看護の歴史と資格制度、職域について、また関連団体の活動について学ぶ。
4		動物看護師の現状と課題	国内の獣医療体制を国際基準・諸外国の獣医療体制と比較する。
5	各論	動物看護者の倫理	動物看護者が遵守すべき職業倫理について理解する。職場における労働安全衛生、危険の防止・対処法について理解する。
6		ライフステージと看護業務	ライフステージごとに求められる看護を理解する。
7		接遇・マナー	医療現場における基本的な対話力を身につける。
8		クライアントエデュケーション	問診、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、守秘義務について理解する。
9		診療簿(カルテ)と関連法規	診療簿(カルテ)の作成・保存について理解する。
10		動物看護記録の作成	
11		看護過程の展開	事例から5つの構成要素、10のアビリティ・モデル、SOAPを読み解く。
12			
13		飼い主支援	現代における動物飼育の課題、ペットロス、グリーフケアについて理解する。
14		動物福祉	愛玩動物、畜産動物、野生動物、使役動物、実験動物等と動物愛護法の適応について理解する。
15	まとめ		

科目名	動物臨床看護学総論	履修時期	1年4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	動物看護師の業務内容、看護過程、看護記録の方法を学び習得する。 実例を用いてターミナルケア・グリーフケアを学ぶ。				
教育内容	動物看護師の業務内容や看護過程の流れ、看護記録の取り方を解説する。 ターミナルケア、グリーフケアの方法と現場での症例を解説する。 動物看護という仕事への考え方、意識を確認する。				
教科書・教材	プリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書9巻				
評価法	出席状況、授業への取り組み姿勢、定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	動物看護師とは	動物医療	人の医療従事者と動物の医療従事者の相違について学ぶ。
2		業務範囲	動物看護師の業務範囲について学ぶ。
3	動物看護業務	動物看護業務①	受付業務について理解する。
4		動物看護業務②	外来診療業務について理解する。
5		動物看護業務③	手術関連業務について理解する。
6		動物看護業務④	環境整備業務について理解する。
7	動物看護過程	看護過程の構成	看護過程を理解する。
8		看護記録	記録のとり方、原則、重要性を理解する。
9	動物看護	若齢期	若齢動物の看護について学ぶ。
10		高齢期	高齢期の看護について学ぶ。
11	QOL	QOLとは	QOLの概念を理解する。
12	ターミナルケア	ターミナルケアとは	ターミナルケアの方法を学ぶ。
13	グリーフケア	グリーフケアとは	グリーフケアの重要性について学ぶ。
14	エンジェルケア	終末期・看取り	対象動物と飼い主への関わり方を学ぶ。
15	まとめ		

科目名	動物健康管理	履修時期	1年3期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	動物の健康管理について学ぶ。 動物達の健康チェックやお手入れ等をメインに異常に気付くことが出来るようになる。				
教育内容	動物の健康チェックやお手入れ方法を身につけ、また全体を見渡し判断出来るようになることを目標にする。さらにコミュニケーション力・説明力も身につける。				
教科書・教材	プリント				
評価法	定期試験、出席状況などの総合評価				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	健康管理	健康とは	動物医療従事者の観点から健康を考える
2			
3		生態と健康①	犬の身体のしくみ
4			健康チェックとお手入れ方法
5		生態と健康②	猫の身体のしくみ
6			健康チェックとお手入れ方法
7		生態と健康③	ウサギの身体のしくみ
8			健康チェックとお手入れ方法
9		生態と健康④	モルモットの身体のしくみ
10			健康チェックとお手入れ方法
11		生態と健康⑤	ハムスターの身体のしくみ
12			健康チェックとお手入れ方法
13		生態と健康⑥	鳥類の身体のしくみ
14			健康チェックとお手入れ方法
15		まとめ	

科目名	動物入院管理	履修時期	1年4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	入院動物の日常管理について理解し説明できる。 状態を確認し、変化にいち早く気づき獣医師や飼い主様に報告出来る力を身に付ける。				
教育内容	入院室を常に清潔にし、不安や負担を感じないような環境を提供できるように理解する。 必要に応じて実習を取り入れ、体で覚える事でより一層の理解、修得につなげる。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻、プリント				
評価法	出席および授業態度、定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	入院管理	入院対応	入院時の大まかな流れ(預かりからカルテ作成)を理解する。 入院時の飼い主様対応について理解する。
2			
3		入院準備	入院ケージの仕組み、清掃方法について理解する。
4			
5		入院動物観察・管理①	病気や状態に応じた看護上の注意点や観察ポイントを理解し、対処法を行えるようにする
6			
7		入院動物観察・管理②	病気や状態に応じた看護上の注意点や観察ポイントを理解し、対処法を行えるようにする
8			
9		入院時使用道具	入院中に使用する道具について理解する。
10			
11		薬剤	薬剤管理や投薬方法について理解する
12			
13		退院対応	退院時の大きな流れ(準備・動物管理)を理解する。 退院時の飼い主様対応について理解する。
14			
15	まとめ		

科目名	動物内科看護学 I	履修時期	1 年 2 期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1 単位	授業時間	30 時間
教育目標	動物内科看護学は内科診療の補助に必要な基礎知識を学ぶことを目的としている。内科診療には内科疾患の知識が求められるが、内科疾患を本質的に理解するためには生理学の知識が不可欠である。動物の体の構造と機能、および調節機構について基礎的な知識を習得することを目標とする。				
教育内容	生体をさまざまな系統に分類し、系統ごとに構造や機能を解説する。 正常な機能だけでなく、その機能が損なわれた場合に発生する疾患も交えて解説する。				
教科書・教材	プリント、愛玩看護師カリキュラム準拠教科書 7 巻				
評価法	出席，定期試験				
成績評価	80 点以上を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可で表し、60 点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1		生理学とは	生体の基本単位を理解する。
2		体液の組成と機能	生体における水の重要性とその調整について理解する。
3		心臓および血管の構造	心臓の構造と働き、血液の循環を理解する。 血管の構造を理解する。
4		心臓および血管の役割	心臓の働きおよび血液の循環を理解する。
5		心電図	心電図とは何か、心電図から何が分かるのかを理解する。
6		呼吸器系の構造と役割	呼吸機能について理解する。
7		消化器の機能	消化管の機能を理解する。
8		消化と吸収	栄養素を消化・吸収する仕組みを理解する。
9		腎臓の構造	腎臓の構造を理解する。
10		腎臓の機能	腎臓での尿の生成過程を理解する。
11		ホルモンについて	ホルモンの役割とその分泌調節を理解する。
12		ホルモンの作用	ホルモンの働きを理解する。
13		血液	血液の液体成分と細胞成分の役割をそれぞれ理解する。
14		神経系	神経系の構造を理解する。
15		感覚器	感覚器の構造との機能を理解する。

科目名	動物形態機能学 I	履修時期	1 年 1 期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1 単位	授業時間	30 時間
教育目標	微生物や植物、動物を含めた、幅広い生物学的基礎知識を習得します。				
教育内容	高校までの生物学を復習しながら、動物看護学と関連のある基礎分野を学びます。この授業で学ぶ内容は、1 年次 2 期以降の修得科目で取り扱われる内容の概説である。幅広い動物看護学を理解する上で必要となる、微生物や植物、動物に関する基本的な専門用語の理解・生物学的基礎知識を修得する。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 1 巻、プリント				
評価法	定期試験				
成績評価	80 点以上を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可で表し、60 点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標	
1	生命のすがた	生命体を構成する物質	生物の身体を形作る水、タンパク質の構造、機能を理解する。	
2			生物の身体を形作る核酸、脂質、多糖の構造、機能を理解する。	
3		生物の系等と分類	生物の定理を認識する。	
4			真核生物、細菌、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマとウイルス、プリオンの基本構造とそのしくみを理解する。	
5		細胞の構造としくみ	細胞を構成するオルガネラの構造としくみを理解する。	
6			核酸の構造としくみ、DNA の複製・転写・翻訳・遺伝子発現を理解する。細胞内におけるタンパク質合成の機序を説明できるようになる。	
7				エネルギー代謝と異化同化について理解する。
8				
10		物質の輸送方法	動物の体内で行われる、物質の受動輸送・能動輸送の原理を理解する。	
11		細胞分裂	染色体の構造と主な動物種の染色体数を理解する。 体細胞分裂と減数分裂の目的と機序を含む細胞周期を理解する。	
12		遺伝子と染色体	遺伝の法則・遺伝様式を理解する。 染色体異常と代表的な遺伝性疾患を理解する。	
13		からだを構成する細胞組織	細胞、組織、器官の成り立ちを認識する。	
14			上皮組織、腺組織、支持組織、筋組織、神経組織を構成する細胞の構造と機能を理解する。	
15		からだを構成する器官	器官の成り立ちと維持、調整システムについて理解する。	

科目名	動物形態機能学Ⅱ	履修時期	1年1期	実務経験のある教員科目	○
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	動物が担う様々な役割と関連する器官の生体機能を学ぶ。動物の生命維持の仕組みと解剖学および生理学の基礎を知り、生命体としての動物を理解できるようにする。動物病院での臨床においてあらゆる診療知識や技術の基本となるのが形態機能学である。犬や猫の他の動物との比較解剖についても理解し、臨床看護に連結させる。				
教育内容	動物の体を構成する器官を理解する。細胞から組織、器官、系統系に形態学的機能学を学ぶ。各系統による臓器の働きを理解し、動物の生命維持に係る仕組みを理解する。 細胞の原理、体の基本構造を理解し、体の支持及び骨格、筋肉の形態を理解する。消化器での吸収、心臓での循環器、肺での呼吸、ガス交換の仕組み、尿作成の泌尿器系について理解する。				
教科書・教材	プリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書1巻				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	体の基本構造	体を形づくる基本物質	体の機能と基本構造、細胞の発見と細胞説について説明する。
2		細胞のしくみと遺伝情報	細胞を構成する原料、動物、植物細胞の違いを説明する。
3	体の表面解剖	体の位置・方向	体の基本構造の名称と作用を理解する。
4		体の支持と運動	体細胞分裂、減数分裂について理解する。
5	筋骨格系	骨格	体の支持の関係、骨格及び骨の基本構造を理解する。
6		骨格筋、筋肉の解剖	骨格の名称及び筋肉の仕組みを理解する。
7	消化器系	消化器の名称と働き	歯の分類・口腔解剖を理解する。
8		消化吸収、栄養代謝の仕組み	胃・腸管・膵臓・肝臓・腺解剖を理解する。
9	循環器系	心臓	循環器系の概要について理解する。
10		血管・毛細血管	心臓・血管のしくみを理解する。
11	呼吸器系	肺	呼吸器系の構造を理解する。
12		気道・気管	呼吸のしくみを理解する。
13	泌尿器系	腎臓・尿路系	泌尿器系の各種比較解剖について理解する。
14		尿の作成に関する解剖	泌尿器系のメカニズムについて理解する。
15	総復習		

科目名	動物形態機能学Ⅲ	履修時期	1年2期	実務経験のある教員科目	○
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	動物が担う様々な役割と関連する器官の生体機能を学ぶ。動物の生命維持の仕組みと解剖学および生理学の基礎を知り、生命体としての動物を理解できるようにする。動物病院での臨床においてあらゆる診療知識や技術の基本となるのが形態機能学である。犬や猫の他の動物との比較解剖についても理解し、臨床看護に連結させる。				
教育内容	動物の体を構成する器官を理解する。細胞から組織、器官、系統系に形態学的機能学を学ぶ。各系統による臓器の働きを理解し、動物の生命維持に係る仕組みを理解する。 生殖器の基本構造、内分泌及び外分泌の形態機能、中枢、末梢神経について、体性、感覚器系、外皮の基本構造、免疫のシステムについて理解する。				
教科書・教材	プリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書1巻				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	生殖器系	生殖器の基本的構造	動物種及び雌雄による生殖器の比較形態について説明する。
2		器官発生	生殖器の機能調節及び発情周期の違いを説明する。
3	内分泌系	内分泌と外分泌の違い	内分泌系の基本構造を理解する。
4		中枢から器官への内分泌	内分泌の形態について理解する。
5	神経系	脳と神経	神経系を構成する細胞を理解する。
6		脳と脊髄の構成要素	神経伝達の仕組みを理解する。
7	感覚器系	感覚系	受容器と閾値を理解する。
8		体性感覚	五感の仕組み及び形態を理解する。
9	外皮系	外皮	外皮系の概要について理解する。
10		皮膚の付属機関	体表の体温調節のしくみを理解する。
11	血液系	血液の基本	呼血液系の構造を理解する。
12		造血の仕組み	造血及び凝固のしくみを理解する。
13	免疫系	免疫システムの基本構造	免疫系の解剖について理解する。
14		総合まとめ	免疫系のメカニズムについて理解する。
15	総復習		

科目名	動物形態機能学Ⅳ	履修時期	1年2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	生理学は生体またはその器官・細胞などの機能を理解する自然科学の一分野である。生理学を通して生命体の機能を習得することは、その後に学習する様々な専門科目を理解する上で必須である。動物生理学では、動物の体の構造と機能、そしてその機能を調整する機構について基礎的な知識を習得することを目標とする。				
教育内容	動物の生命現象、生体の恒常性を維持するメカニズムを理解する。 生体を系統ごとに分類し、それぞれの系統の臓器・器官の構造や機能を解説する。 各項目において、正常な機能が損なわれた場合に発生する疾病との関係について理解する。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書1巻、プリント				
評価法	出席状況,小試験,授業内課題,定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1		生理学とは	生体の基本単位を理解する。恒常性とは何か、説明する。
2		体液の組成と機能	生体における水の重要性とその調整について理解する。 細胞内液と細胞外液について説明する。
3	循環器系	心臓および血管の構造と役割	心臓の構造と働きを理解する。血液の循環と働きを理解する。
4		心臓および血管の構造と役割	血管の構造と特徴を理解する。
5	呼吸器系	呼吸器の構造と役割	呼吸の仕組みについて理解する。
6	消化器系	消化と吸収	栄養素とその役割を理解する。 三大栄養素、動物ごとの必須ビタミンについて説明する。
7		消化と吸収	栄養素を消化・吸収する仕組みを理解する。 消化管ホルモンの働きを説明する。
8	内分泌系	ホルモンの種類と作用	ホルモンの役割とその分泌調節を理解する。 タンパク・ペプチド系、ステロイド系、アミン系ホルモンについて比較・説明する。
9		ホルモンの種類と作用	各ホルモンの働きつまり、作用機序を理解する。 ホルモンの受容体を理解する。
10	泌尿器系	腎臓の構造と機能	腎臓の構造（腎小体、ネフロン）、遊走腎について説明する。
11		尿の生成と体液調節	尿細管の機能について説明する。 原尿、尿量調節のしくみを理解する。
12	生殖器系	生殖器、性周期	生殖器の構造、排卵、受精、着床、分娩、泌乳について説明する。 イヌとネコの性周期を理解する。帝王切開について説明する。
13	神経系	神経系の構造と役割	神経の構造と神経伝達のしくみ理解する。 体性神経系と自律神経系について説明する。
14		感覚器系の構造と役割	感覚神経とその受容器を理解する。
15	体温調節機構	体温調節中枢	動物種における体温の相違を理解する。 各動物種における体温調節のしくみを説明する。

科目名	動物行動学	履修時期	1年2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	動物の行動について習熟し、動物看護の現場でその知識を生かせるようにする。				
教育内容	動物の行動の意義、機構及び犬・猫の問題行動を理解する。 小動物臨床における行動学に関わる事例を紹介するとともに、動物看護師統一認定試験合格を目指し、学習していく。				
教科書・教材	配布資料、スライド、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻				
評価法	出席率、授業態度、定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	概論	犬・猫の起源・歴史	犬・猫の発生源、生態、歴史を理解できる。
2	概論	犬・猫の種差、特徴	犬・猫の生態・行動の種差、特徴を理解できる。
3	行動の意義と機序	行動の発達	犬・猫の行動発達ステージ、発達過程を理解できる。
4	行動の意義と機序	行動の種類	生得的行動と習得的行動を理解できる。
5	行動の意義と機序	行動の種類	個体行動と社会行動を理解できる。
6	行動の意義と機序	行動の種類	コミュニケーション行動及びボディランゲージを理解できる。
7	行動の意義と機序	行動の種類	性行動を理解できる。
8	しつけ・トレーニング	学習理論	馴化、鋭敏化について理解できる。
9	しつけ・トレーニング	学習理論	古典的条件付けについて理解できる。
10	しつけ・トレーニング	学習理論	オペラント条件付けについて理解できる。
11	しつけ・トレーニング	しつけ・トレーニングの方法	パピークラス、服従訓練等について理解できる。
12	問題行動	問題行動の成り立ち	問題行動が起こる原因・過程を理解できる。
13	問題行動	問題行動の対処	問題行動に対する対処・予防について理解できる。
14	問題行動	問題行動の治療	問題行動の治療法について理解できる。
15	まとめ		

科目名	動物病理学	履修時期	1年4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	病理学的特徴を細胞・組織で詳細に理解する。分類別に修得し、発病のメカニズムを病理学的に熟知する。細胞の損傷についてDNAの修復を認識する。基本病変を分類し、細胞の老化、壊死、損傷を修得する。浸透と拡散による透過を学習し、酸塩基平衡の意義を学ぶ。ホメオスタシスによる生命体維持の成り立ちを述べ、生命細胞からの生体の成立を認識する。細胞の増殖と分裂を細胞組織で熟知する。				
教育内容	生体とは何か、もっとも基底であるこの分野を分かりやすくするために、臨床応用的疾病のメカニズムを説明する。血液およびリンパ性循環障害、進行性病変、退行性病変についての認識、炎症のメカニズムおよび免疫異常についての機構を学び、生物としての生体異常を理解する。細胞分化およびDNA損傷による腫瘍発症機構を熟知したうえで、疾病予防及び治療を理解する。				
教科書・教材	プリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	病理学概論	動物病理学とは「1」	細胞の機能と基本構造、細胞の発見と細胞説について説明する。
2		生体反応と疾病の機序「2」	生体の正常な反応と病的反応を知り、疾病の原因を理解する。
3		生体の回復力「3」	生体の恒常性の維持する神経系の働きを知る。
4		細胞の損傷「4」	生体の恒常性の維持する内分泌、免疫系の働きを知る。
5	細胞や組織に生じる変化	退行性病変1「5」	障害に対する細胞や組織の変化を理解する。（変性、物質沈着）
6		退行性病変2	障害に対する細胞や組織の変化を理解する。（委縮、壊死）
7		進行性病変1「6」	細胞や組織の増殖の機序と再生
8		進行性病変2	損傷の治癒と疾病の過程を理解する。
9		循環障害「7」	血管循環障害と浮腫について理解する。
10		血液病態「8」、浮腫「9」	出血・血栓・栓塞・梗塞を理解する。
11	発病のメカニズム	炎症「10」	炎症の機序について述べる。
12		炎症「11」	免疫のメカニズムについて理解する。
13		腫瘍「12」	腫瘍のメカニズムについて理解する。
14		先天異常「13」	先天異常の概念と分類を理解・遺伝的、環境的要因と胎児の影響
15	総復習		

科目名	動物感染症学 I	履修時期	1 年 2 期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1 単位	授業時間	30 時間
教育目標	動物感染症を理解するために必要な微生物の基礎的な知識を修得する。				
教育内容	細菌、ウイルス、真菌などの微生物について、分類、構造、形態、感染症、検査方法などを説明する。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻				
評価法	小テストと定期試験で総合評価				
成績評価	80 点以上を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可で表し、60 点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	微生物や寄生虫の分類・生物学的特徴・伝播様式、感染症の発病メカニズム・検査法・診断法・予防法・治療法、衛生管理	微生物総論	微生物の定義、微生物の種類、および感染と発症を理解する。
2		ウイルスの分類・形態・増殖方法・病原性	ウイルスの分類、ウイルスの大きさ・構造、ウイルスの増殖・感染・変異、およびウイルスの伝播を理解する。
3			
4			
5		細菌の分類・形態・増殖方法・病原性	細菌の分類、細菌の大きさ・形態・構造について理解する
6			細菌の増殖・代謝と細菌の遺伝子について理解する。
7			細菌の感染・発症について理解する。
8		真菌の形態・増殖方法・病原性	真菌の分類と特徴、真菌の増殖にかかわる要因、真菌の増殖様式と真菌種名、および人獣共通感染症としての真菌について理解する。
9			
10		プリオン	プリオン病について理解する。
11		微生物検査法	バイオセーフティについて理解する。
12			滅菌と消毒について理解する。
13			ウイルス検査法、細菌検査法、および真菌検査法について理解する。
14			
15		まとめ	第 1 回～第 14 回の重要項目を確認して理解する。

科目名	動物感染症学Ⅱ	履修時期	1年 1,2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	<p>ペット動物や一部経済動物の重要な感染症のひとつとして寄生虫学を学ぶ。  この講義を通じて、病原体と感染(者)との間の相互関係を理解する。  ペット飼育者に正しい知識、情報を発信し得る動物看護師を養成する。  愛玩動物看護師国家試験内容を念頭に重点ポイントを指摘し対策する。</p>				
教育内容	<p>内部および外部寄生虫の生物学的特性とそれらが感染動物にもたらす病原性と病態(症状)などについて、教科書の図版やPCを参考にして学習する。</p>				
教科書・教材	<p>教科書：犬・猫・エキゾチックペットの寄生虫ビジュアルガイドブック  参考書：イラストでみる犬の病気</p>				
評価法	定期試験、出席状況				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容 (シラバス)

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	寄生とは	寄生虫とは	寄生虫学概論を理解する。
2	寄生虫学各論	内部寄生虫	動物体内に寄生する内部寄生虫の種類と特徴を知る。
3		蠕虫類	多細胞動物である蠕虫類を学ぶ。
4		線虫類	消化管寄生の線虫類の代表としての回虫および鉤虫を説明する。
5			鞭虫および糞線虫の生物学を講述する。
6			血液寄生の糸状虫類を説明する。
7			糸状虫類の代表として犬糸状虫の生物学特徴について学ぶ。
8		吸虫類	消化管寄生の壺形吸虫と肺寄生の肺吸虫について学習する。
9		条虫類	消化管寄生の瓜実条虫とマンソン裂頭条虫の生物学を理解する。
10			エノキコッカスの公衆衛生上の重要性を知る。
11		原虫類	単細胞生物としてのコクシジウム類を理解する。
12			血液寄生の原虫類の代表としてバベシアを学ぶ。
13		外部寄生虫	重要な外部寄生虫としてのノミを学ぶ。
14			昆虫類以外の外部寄生虫(ダニ類)の生物学について修得する。
15	総合評価		

科目名	動物感染症学Ⅲ	履修時期	1年3期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	感染防御反応について、その機構を組織・細胞・分子レベルで理解するために、免疫学に関する基本的な知識を修得する。				
教育内容	免疫系は、外界から侵入した病原体や腫瘍といった非自己の成分を認識して、それを排除するために獲得免疫と自然免疫からなる。この授業では、免疫を担当する細胞と特徴的な機能を理解する。そして、細胞性免疫と液性免疫の仕組みを理解する。病原体の侵入を制御する防御システムについても理解する。また、免疫異常によって引き起こされるアレルギーや自己免疫疾患の発症メカニズムを理解する。臓器移植における拒絶反応のメカニズムについて理解する。ワクチンの種類と感染症予防の原理について理解する。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書1巻・3巻				
評価法	定期試験、追再試験を行うことがある。				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	免疫系臓器	中枢性・末梢性免疫系臓器 物理的防御・化学的防御	中枢性免疫系臓器、末梢性免疫系臓器について理解する。 免疫反応に関わる組織と細胞を列挙し、その役割について理解する。 物理的防御と化学的防御について理解する。
2			
3	生体防御	自然免疫	自然免疫系を構成する主な細胞とそれらの活性化機構を理解する。 補体および自然免疫細胞が病原体によって活性化し、炎症を引き起こす仕組みについて理解する。
4			
5		体液性免疫	ヘルパーT細胞、制御性T細胞それぞれが担当する生体防御反応の概要について理解する。 B細胞の活性化による抗体産生の機構および抗体の役割を理解する。 T細胞抗原受容体の構造と反応様式について理解する。 主要組織適合遺伝子複合体クラスIIの基本構造と機能、抗原提示によるT細胞活性化の仕組みについて理解する。
6		免疫グロブリン	免疫グロブリンの構造と反応様式について理解する。 いろいろな動物における免疫グロブリンの構造について理解する。 免疫グロブリン遺伝子の構造と遺伝子再構成に基づき、多様性獲得の機構の概要について理解する。
7		細胞性免疫	細胞傷害性T細胞、が担当する生体防御反応の概要について理解する。 主要組織適合遺伝子複合体クラスIの基本構造と機能、抗原提示によるT細胞活性化の仕組みについて理解する。 体液性免疫と細胞性免疫について理解する。
8		T細胞抗原受容体 遺伝子再構成	T細胞抗原受容体遺伝子の構造と遺伝子再構成に基づき、多様性獲得の機構の概要について理解する。 胸腺におけるT細胞の分化過程について理解する。 代表的なサイトカインとケモカインを列挙し、その役割を理解する。 ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴の概要について理解する。
9		受動免疫・能動免疫	受動免疫と能動免疫について理解する。 ワクチンの種類と感染症予防の原理を理解する。
10			
11	免疫異常	自己免疫・自己抗体	免疫寛容の維持機構とその破綻による自己免疫疾患の発症の概要について理解する。 自己抗体と関連する自己免疫疾患を理解する。 移植での免疫応答の特徴を理解する。
12			
13		アレルギー・がん免疫	アレルギーの分類（Coombs分類）と発症の機序について理解する。 代表的なアレルギー疾患を列挙できる。
14	免疫学的検査	免疫学的検査	免疫学的検査の目的、原理、意義について理解する。
15			

科目名	微生物学実習	履修時期	1年3期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	微生物学で学んだ知識を基に微生物の実験に関する基礎的手技（無菌操作、染色手技、顕微鏡操作など）および感染防止対策などの基本的知識・技術を徹底的に習得し、実践出来る能力を養う。				
教育内容	目に見えない危険な生き物を取り扱うので、基本的な無菌操作の手技を徹底的に習得させる。				
教科書・教材	プリント				
評価法	定期試験（60%）、レポート提出（40%）によって総合的に評価する。				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	器具の洗浄 滅菌と消毒	器具洗浄の意義 滅菌・消毒の定義	使用する器具を洗浄する意義。 滅菌・消毒の違いについて説明できる。
2			
3	培地の調整法	液体・平板・斜面・高層・卵黄 寒天培地などの作製	液体・平板・斜面・高層・卵黄寒天培地などの作り方について 説明できる。
4			
5	細菌接種法 細菌培養法	無菌操作 釣菌法、平板培地への植菌法	白金耳・線などの火炎滅菌などの基本的な無菌操作、釣菌・ 植菌などの基本操作について説明できる。
6			
7	培養所見観察 細菌の形態観察	集落の観察 染色法、顕微鏡操作	発育した集落の観察法、グラム染色法、顕微鏡操作について説明 できる。
8			
9	手洗い・手指消毒	手洗い後の洗い残しの観察 手指消毒の培養後の集落数	手洗いと手指消毒の違いが説明できる。
10			
11	鼻腔内ブドウ球菌検出 薬剤感受性試験	鼻腔内ブドウ球菌の分離・同定 ブドウ球菌の薬剤感受性試験	鼻腔内ブドウ球菌の分離・同定法、同定されたブドウ球菌の薬剤 感受性試験法について説明できる。
12			

科目名	動物愛護・適正飼養実習 I	履修時期	1年 1,2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	動物の適正飼養管理に必要な考え方を養う。 動物に対する接触態度から、動物の飼養に至るまで、コンパニオンアニマルの飼養管理全般の基礎知識を身につける。				
教育内容	飼養動物の適正な飼育管理方法を学ぶとともに、グルーミング技術の基礎を学ぶ。 飼養動物の QOL を高める術を考えることで、発想力や他者に共感できる感性の育成・強化につなげていく。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト第 3 版、プリント				
評価法	出席および授業時積極性、実技試験、定期試験				
成績評価	80 点以上を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可で表し、60 点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	動物飼育管理①	動物の適正管理方法	実習に対する心構え、実習ノートの書き方を覚える。
2	動物飼育管理②	動物の適正管理方法	学校犬・猫の飼育管理方法を学ぶ。
3	動物飼育管理③	動物の適正管理方法	学校犬・猫の飼育管理方法を学ぶ。
4	動物飼育管理④	動物の飼育管理方法	飼育する上での基礎を学ぶ。
5	動物飼育管理⑤	動物の飼育管理方法	飼育する上での健康面について学び理解する。
6	動物愛護管理行政	動物愛護管理センター見学	動物愛護管理センターの活動を理解する。
7	動物飼育管理⑥	動物の飼育管理方法	飼育する上で必要になるフードや道具を学び理解する。
8	保定	保定法	保定の基本、役割を理解し基本型を習得する。
9	投薬	投薬	様々な薬の形状や投与方法について学び理解する。
10	寄生虫	身近な寄生虫	身近にいる寄生虫の生態や薬の種類、投薬方法を学ぶ。
11	ブラッシングとケア	ブラッシング、日常ケア	犬のブラッシングとケアの仕方と重要性を学ぶ。
12	まとめ・実技試験		

科目名	動物臨床検査学実習 I	履修時期	1年 3,4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	臨床検査学の実習として、寄生虫卵あるいは寄生虫体の検出を目的とした糞便検査や血液検査法の基礎知識と実践手段を学ぶ。 動物病院にて寄生虫検査の即戦力として信頼される知識・技術を体で覚え込めるよう繰り返し実習する。				
教育内容	顕微鏡の取り扱い方、操作方法を習熟させ、顕微鏡検査による寄生虫感染症の検査診断法を身に付ける。 検体の採取・保存管理法も修得する。 機会をみて、目黒寄生虫館への見学実習および牧場へのサンプリングを実施し、寄生虫あるいは大・中・小動物に直接接触れる。				
教科書・教材	犬・猫・エキゾチックペットの寄生虫ビジュアルガイドブック				
評価法	定期試験、出欠席状況、レポート				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	寄生虫検査法	糞便検査法	虫卵あるいは虫体検査法の理論を知る。
2		顕微鏡	顕微鏡の取り扱い、マイクロメータの使用法。
3		虫卵検査法	直接塗抹法による虫卵検出を実践する。
4			浮遊法による虫卵検出とスケッチ。
5		血液検査法	犬糸状虫の検査の意義と簡易検査。
6			犬糸状虫の集虫法による検査と免疫学的診断。
7			住血性原虫類の検出法としてネズミマラリアを用いた血液検査。
8		免疫学的診断	トキソプラズマやジアルジアの免疫学的診断。
9		モデル犬の健康診断	本校モデル犬の糞便検査(1)
10	外部寄生虫検査	昆虫類	ノミの標本作製と観察・スケッチ。
11		ダニ類	マダニ・その他のダニ類の観察・スケッチ。
12		人獣共通寄生虫	代表として魚類に寄生するアニサキスについて実習を行う。

科目名	動物内科看護学実習 I	履修時期	1年 3,4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	動物臨床の現場に必要な検査の基礎知識と基本的技術を習得する。				
教育内容	動物や検体(尿や血液など)を用いて実習を行う。				
教科書・教材	プリント、愛玩看護師カリキュラム準拠教科書7巻				
評価法	出席状況、レポート提出、定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容 (シラバス)

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	診療とは	診療について	診療の流れについて理解する。視診、問診、触診、聴診を理解する。
2		入院患者の管理 カルテについて	入院患者の管理およびカルテについて学習する。
3	一般臨床で行う検査	身体検査	身体検査の目的を理解する。
4		身体検査	身体検査を習得する。
5		保定法	イヌやネコの保定法を理解する。
6		注射器の取り扱い 血液検体の処理	注射器の取り扱い方を習得する。 血液検体の処理方法を学習する。
7		血液塗抹標本作製 ヘマトクリット測定法	血液塗抹標本の作製方法およびヘマトクリット値の測定方法を習得する。
8		血液塗抹標本の染色・観察	血液塗抹標本を染色し、顕微鏡で観察する。
9		糞便検査	イヌやネコの検体を用いて糞便検査の方法を習得する。
10		尿検査	イヌやネコの検体を用いて尿検査の方法を習得する。
11		尿検査・薬剤感受性試験	尿を材料に薬剤感受性試験を実施し、結果の解釈を理解する。
12		心電図検査	心電図測定方法と動物の保定法を習得する。

科目名	動物形態機能学実習	履修時期	1年3,4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	実験動物の存在・活用、基本的な取扱方法を理解・習得する。				
教育内容	実験動物の基本的な取扱を習得するとともに、保定・投与等の手技を習得し、観察力を養い、外科手術の流れを理解する。				
教科書・教材	高度実験動物技術者養成実習テキスト、プリント				
評価法	定期試験、実習ノート、実技試験、出席状況などの総合評価				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	実験動物について	実験動物とは	実験動物の活用、飼育管理について学ぶ。
2	動物の取扱	マウスの取扱	マウスの馴化・保定・個体識別法を学ぶ。
3	投与法	薬剤投与法①	体重測定・腹腔内投与法を学ぶ。
4		薬剤投与法② 薬剤投与法実技試験	腹腔内投与・皮下投与法を学ぶ。 実技試験で自身の技術を確認する。
5	麻酔管理	吸入麻酔・個体識別法	吸入麻酔の管理・永久個体識別法について学ぶ。
6		麻酔薬の調整法・観察	麻酔薬の調整法について理解し、実際に麻酔をかけ麻酔状態を観察する。
7	手術	手術器具・縫合糸・縫合針	種類と用途・特性について学ぶ。
8		精巣摘出術	手術の流れを理解し、実践する。
9		卵巣摘出術	手術の流れを理解し、実践する。
10		解剖	生態についての理解を深める。
11	標本	血液塗抹標本 感染症	血液塗抹法を習得する。 感染症について学ぶ。
12		標本観察	組織標本・スミア標本の観察。

科目名	グルーミング実習 I	履修時期	1年4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	犬体の美容法を学ぶことで、日常の健康管理に役立てる。 動物病院において必要なグルーミング技術や、処置前後の衛生管理技術を身につける。				
教育内容	犬の気質や犬体そのものをグルーミングを通して学び、総合的な健康管理ができるようにする。 獣医療の場において、処置の確実性・時短に繋がる被毛処理ができるようになる。				
教科書・教材	プリント				
評価法	授業態度及び出席状況、実技試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	グルーミング基礎	器具の取り扱い	器具の使い方、使用目的を理解する。
2	グルーミング実習	グルーミングの意義	なぜグルーミングが必要か説明する。
3	グルーミング実習	下準備・爪切り	嫌がる犬のコントロール方法を学ぶ。
4	グルーミング実習	バリカンの使用法	保定の方法・対処法を学ぶ。
5	グルーミング実習	耳の中の処置	安全にストレスをかけないように。
6	グルーミング実習	被毛の処置	さまざまな毛質の対応の仕方。
7	グルーミング実習	シャンプーの仕方	皮膚の状態に合わせた薬剤を使用。
8	グルーミング実習	ドライイング法	プロの仕上がりを目指す。
9	グルーミング実習	足周りの処理	ハサミの使い方を学ぶ。
10	グルーミング実習	グルーミング通し	全ての作業を短時間で安全に行う。
11	グルーミング実習	グルーミング通し	全ての作業を短時間で安全に行う。
12	実技試験		

科目名	動物看護総合実習 I	履修時期	1 年	実務経験のある教員科目	○
授業方法	実習	授業単位	1 単位	授業時間	60 時間
教育目標	動物病院で行われている診療の流れを知る。 動物病院での消毒や清掃を実践することにより、衛生管理の重要性を理解する。				
教育内容	動物病院ではどのような診療が行われているか、動物看護師にはどのような業務があるのかを知り、学問習得への意識を高める。 愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し実務能力を習得する。10 日間以上実地。				
教科書・教材					
評価法	動物病院実習評価表、提出物、口頭試問				
成績評価	80 点以上を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可で表し、60 点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	動物病院実習		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

2024年度愛玩動物看護学科2年生

# SYLLABUS

# 目 次

## <必修科目>

動物栄養学Ⅰ	1	動物臨床検査学	17
動物栄養学Ⅱ	2	動物外科看護学Ⅰ	18
動物薬理学Ⅰ	3	動物外科看護学Ⅱ	19
動物薬理学Ⅱ	4	動物臨床看護学各論Ⅰ	20
愛玩動物学Ⅱ	5	動物臨床看護学各論Ⅱ	21
比較動物学Ⅰ	6	動物臨床看護学各論Ⅲ	22
比較動物学Ⅱ	7	動物臨床看護学各論Ⅳ	23
動物繁殖学(斎藤)	8	動物臨床看護学実習Ⅰ	24
動物繁殖学(川鍋)	9	動物臨床看護学実習Ⅱ	25
動物生活環境学	10	動物内科看護学実習Ⅱ	26
ペット関連産業概論	11	動物内科看護学実習Ⅲ	27
適正飼養指導論Ⅰ	12	動物臨床検査学実習Ⅱ	28
適正飼養指導論Ⅱ	13	動物外科看護学実習Ⅰ	30
動物医療コミュニケーション	14	動物外科看護学実習Ⅱ	32
動物内科看護学Ⅱ	15	動物愛護・適正飼養実習Ⅱ(三井)	33
動物内科看護学Ⅲ	16	動物愛護・適正飼養実習Ⅱ(大下)	34

## <選択科目>

応用実験動物学Ⅰ	35	応用実験動物学Ⅱ実習	38
応用実験動物学Ⅱ	36	放射線概論	39
応用実験動物学Ⅰ実習	37		

科目名	動物栄養学 I	履修時期	2年2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	愛玩動物看護師として動物の栄養管理等に関する専門的な助言・指導の担い手となるため、5大栄養素やその代謝などの基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージごとの栄養管理を修得する。				
教育内容	動物における栄養の意義、5大栄養素（炭水化物、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル）の機能やその代謝、食性、与えてはいけない食材について解説する。また、栄養要求量、栄養基準、ライフステージ（成長期、維持期、妊娠期、授乳期、高齢期）ごとの栄養管理、栄養状態の評価法についても解説する。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻、プリント配布				
評価法	定期試験、授業態度（出席状況を含む）によって総合的に評価する。				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	基礎栄養	炭水化物（糖質・食物繊維）	炭水化物の種類、特徴、供給源、生理作用について説明できる。
2		タンパク質	タンパク質の種類、特徴、供給源、生理作用について説明できる。
3		脂質	脂質の種類、特徴、供給源、生理作用について説明できる。
4		ビタミン	ビタミンの種類、特徴、供給源、生理作用について説明できる。
5		ミネラル	ミネラルの種類、特徴、供給源、生理作用について説明できる。
6		栄養素の代謝	各種栄養素の消化、吸収、代謝について説明できる。
7		栄養要求の種差	動物により必要な栄養成分が異なることについて説明できる。
8		食性、嗜好・嗜好性、摂食行動	犬・猫の食性、嗜好・嗜好性、摂食行動について説明できる。
9		健康維持における栄養の意味	健康維持における栄養の持つ意味について説明できる。
10		栄養素の不足・過剰症	各種栄養素の不足、過剰症について説明できる。
11		与えてはいけない食材（禁忌食）	中毒、与えてはいけない食材・添加物について説明できる。
12	栄養要求量	エネルギー要求量	エネルギー要求量の意味と計算法について説明できる。
13		栄養基準	栄養基準（AAFCO、NRCなど）について説明できる。
14		ライフステージごとの栄養管理	ライフステージごとの栄養管理の特徴について説明できる。
15		栄養状態評価法	栄養状態評価法（BCS、体脂肪測定など）について説明できる。

科目名	動物栄養学Ⅱ	履修時期	2年4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	食事はただのエネルギー源としてだけでなく、ある疾患においては治療の一部の役割も担っている。食事を栄養学の観点から学び、食事の重要性について理解することを目標とする。				
教育内容	まず栄養素について説明し、ライフステージごとに必要な栄養について説明する。 ペットフードについて説明する。 臨床現場で多く利用される療法食について説明する。				
教科書・教材	プリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻				
評価法	定期試験、出席状況				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	栄養素	三大栄養素	炭水化物、蛋白質、脂肪の役割を理解する。
2		ビタミン・ミネラル	ビタミンおよびミネラルの種類とその役割を理解する。
3		消化と吸収	消化および吸収の過程を理解する。
4	健康維持と栄養	健康維持プログラム	動物が健康を維持し長生きするために必要なことを理解する。
5		ライフステージにおける栄養（イヌ）	授乳期から老齢期までそれぞれの時期に応じた栄養について理解する。
6		ライフステージにおける栄養（ネコ）	授乳期から老齢期までそれぞれの時期に応じた栄養について理解する。
7		イヌネコの肥満	肥満の定義、ボディコンディショニングスコアを理解する。 肥満の予防・改善方法を理解する。
8	ペットフード	ペットフードについて	ペットフードの定義や種類を理解する。 ペットフードの製造・管理・原材料などを理解する。
9		ペットフードの添加物	ペットフードに使用される添加物とその使用目的を理解する。
10	各療法食について	尿石症の食事療法	尿石症の原因と使用される療法食の役割について理解する。
11		糖尿病の食事療法	糖尿病の原因と使用される療法食の役割について理解する。
12		消化管疾患の食事療法	代表的な消化管疾患の病態を理解し、利用できる療法食の種類や与え方を理解する。
13		慢性心臓病の食事療法	慢性心臓病患者の病態と療法食の役割を理解する。
14		慢性腎臓病の食事療法	慢性腎臓病患者の病態と療法食の役割を理解する。
15		がんの食事療法	がん患者に必要な栄養素や食事の与え方について理解する。

科目名	動物薬理学 I	履修時期	2年1期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	動物薬理学の授業では、愛玩動物の身体に影響を与える薬物の働きや作用メカニズム、投与方法、適応症、副作用、相互作用などに関する基礎知識を修得することを目的とします。さまざまな薬物の種類や使い方、適切な投与量の計算、薬物の安全性と管理について理解を深めます。				
教育内容	授業は、パワーポイント、板書を中心とした講義形式で行います。授業を通じて、愛玩動物の治療に必要な薬理学の知識とスキルを身につけ、安全かつ効果的な薬物療法を実践できる愛玩動物看護師の育成を目指します。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻、配布プリント				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	薬物の体内動態・作用機序、治療、副作用	初癌動物看護師による薬物の取り扱い (小佐野)	獣医師による投薬量計算について理解する。 各種投薬法（投与経路）を理解し、自宅での投薬を飼い主に指導できる。 薬物の適切な管理方法について理解する。
2			
3		動物薬理学の基礎 (小佐野)	獣医臨床における薬物治療の概念と目的について理解する。 薬理作用とその発現機構について理解する。
4			
5			薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）と半減期、耐性について理解する。 薬物間相互作用について理解する。 副作用と中毒について理解する。
6			
7		神経系に作用する薬物 (小林)	末梢神経系の神経伝達物質、受容体、および効果器における機能について理解する。 全身麻酔薬について理解する。
8			
9			局所麻酔薬について理解する。 鎮痛薬について理解する。 運動神経系に作用する薬物について理解する。 鎮静薬と抗けいれん薬について理解する。 問題行動の治療に用いられる薬物について理解する。
10			
11		呼吸器系に作用する薬物 (小林)	呼吸興奮薬について理解する。 鎮咳薬について理解する。 気管支拡張薬について理解する。
12			
13		循環器・泌尿器に作用する薬物 (五十鈴川)	血管拡張薬（降圧薬）について理解する。 心不全治療薬（強心薬）について理解する。 抗不整脈薬について理解する。
14			
15			利尿薬について理解する。

科目名	動物薬理学Ⅱ	履修時期	2年2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	動物薬理学の授業では、愛玩動物の身体に影響を与える薬物の働きや作用メカニズム、投与方法、適応症、副作用、相互作用などに関する基礎知識を修得することを目的とします。さまざまな薬物の種類や使い方、適切な投与量の計算、薬物の安全性と管理について理解を深めます。				
教育内容	授業は、パワーポイント、板書を中心とした講義形式で行います。授業を通じて、愛玩動物の治療に必要な薬理学の知識とスキルを身につけ、安全かつ効果的な薬物療法を実践できる愛玩動物看護師の育成を目指します。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻、配布プリント				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標	
1	薬物の体内動態・作用機序、治療、副作用	消化器に作用する薬物 動物薬理学の基礎 (五十鈴川)	制吐薬について理解する。 制酸薬と胃粘膜保護薬について理解する。 消化管運動調節薬について理解する。	
2			止瀉薬について理解する。 瀉下薬について理解する。 肝疾患の治療に用いられる薬物について理解する。 酵素製剤について理解する。	
3				代表的なオータコイドについて理解する。 非ステロイド系抗炎症薬について理解する。 ステロイド系抗炎症薬について理解する。
4				
5		貧血の発症機序について理解する。 抗貧血薬について理解する。 血液凝固抑制薬について理解する。 血液凝固促進薬（止血薬）について理解する。		
6			悪性腫瘍発生の仕組みについて理解する。 抗悪性腫瘍薬について理解する。 抗菌薬について理解する（作用機序による分類、抗菌スペクトルなど）。 抗真菌薬について理解する。	
7		駆虫薬について理解する。 殺虫薬について理解する。 消毒薬について理解する。		
8				免疫抑制薬について理解する。 ワクチンについて理解する。
9		血液に作用する薬物 (小林)	免疫系に作用する薬物 (小林)	
10				化学療法薬 (小林)
11		免疫系に作用する薬物 (小林)		
12			免疫系に作用する薬物 (小林)	
13		免疫系に作用する薬物 (小林)		
14			免疫系に作用する薬物 (小林)	
15		免疫系に作用する薬物 (小林)		

科目名	愛玩動物学Ⅱ	履修時期	2年1期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	エキゾチックといわれる動物への理解、愛玩動物飼養管理士で学んだ適正飼養を再確認しながら、適正かつ適切な看護や疾病や事故予防のための知識を学ぶ。また、動物看護師試験への対策に重点を置きながら一般のエキゾチックアニマル愛好家へ健康面からアドバイスが適切にできる基本を習得する。				
教育内容	一学年時に学んできた知識をエキゾチックアニマルへも応用できるよう、各学科の関連性をも学習しながら理解を深める。また、基本となるイヌやネコとの比較も行いながら学習することで、動物全般に関わる基礎的知識や応用能力を高め、実践に備えるべき資質を構築する。				
教科書・教材	プリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻、動物の行動と健康管理、愛玩動物飼養管理士2級教本カラーアトラス エキゾチックアニマル哺乳類編/鳥類編（参考図書）				
評価法	出席状況、授業態度、定期試験など				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	エキゾチック動物とは	一般的なエキゾチック動物の分類と種類について（食性を中心にした分類とその違い）	環境と体内適応・体外適応、食性でみる動物の特徴や習性
2	雑食性小型哺乳類	ハムスター・マウス（ラット）	分類・適正飼養・疾病予防と看護
3	雑食性小型哺乳類	リス・モモンガ	分類・適正飼養・疾病予防と看護
4	肉食性小型哺乳類	フェレット	分類・適正飼養・疾病予防と看護
5	虫食性小型哺乳類	ハリネズミ	分類・適正飼養・疾病予防と看護
6	草食性小型哺乳類	ウサギ	分類・適正飼養・疾病予防と看護
7	草食性小型哺乳類	モルモット	分類・適正飼養・疾病予防と看護
8	草食性小型哺乳類	チンチラ、デグー	分類・適正飼養・疾病予防と看護
9	鳥類の特徴	鳥類の特徴と分類	鳥類と哺乳類との違いと特徴
10	鳥類の分類	鳥類の種類と食性	鳥類の種類と食性
11	愛玩鳥の飼養管理	育雛方法と疾病予防	雛の育雛と日常の疾病予防
12	オウム目	インコオウム	分類・適正飼養・疾病予防と看護
13	スズメ目	フィンチおよびカナリア	分類・適正飼養・疾病予防と看護
14	両生類・爬虫類・ 観賞魚	両生類・爬虫類・観賞魚の 基礎知識	基本の飼養管理方法と疾病予防応
15			

科目名	比較動物学 I	履修時期	2年1期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	ヒトとのつながり、すなわち人間社会における野生動物について科学的、社会的学問として学ぶ。				
教育内容	野生動物の生態からヒトとのかかわりについて、広く理解を深めるために以下の項目を教授する。				
教科書・教材	コミュニケーションをめぐる生物学、ダイエツトをめぐる生物学、菌をめぐる生物学、神経をめぐる生物学				
評価法	定期試験、グループ討論				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	生物とは	動物と植物	動物と植物の違いについて説明する。
2	野生動物とは	ヒトと野生動物	人間社会における野生動物の位置について説明する。
3	野生動物の分類	昆虫、鳥類、哺乳動物	生物学的分類位置について説明する。
4	野生動物のコミュニケーション	情報とコミュニケーション	送り手と受け手について説明する。
5		視覚信号とコミュニケーション	視覚器の仕組みについて説明する。 擬態、ディスプレイについて説明する。
6		聴覚信号とコミュニケーション	聴覚器の仕組みについて説明する。 超音波について説明する。
7		嗅覚信号とコミュニケーション	嗅覚器の仕組みについて説明する。 匂いの物質について説明する。
8	野生動物の食性	草食・肉食・雑食動物	採食行動について説明する。
9	野生動物の消化器系	草食動物	消化器の形態と機能について説明する。
10		肉食動物	消化器の形態と機能について説明する。
11	野生動物とインフルエンザ	スペインかぜ、SARS、MERS	感染経路について説明する。
12			
13	野生動物と農作物被害	森林・水産被害	被害状況とその対策について説明する。
14	野生動物の絶滅危惧	希少動物種	希少動物の保護活動について説明する。
15	まとめ		

科目名	比較動物学Ⅱ	履修時期	2年4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	ヒトとのつながり、すなわち人間社会における産業動物について科学的、社会的学問として学ぶ。				
教育内容	我々の食糧源である産業動物の生産性の効率化、それに伴う環境問題と福祉について、幅広く理解するために以下の項目を教授する。				
教科書・教材	歯をめぐる生物学、神経をめぐる生物学、コミュニケーションをめぐる生物学、ダイエットをめぐる生物学				
評価法	定期試験、グループ討論				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	家畜とは	愛玩動物、産業動物	愛玩動物と産業動物の違いについて説明する。
2	産業動物とは	ヒトと産業動物	人間社会における産業動物の位置について説明する。
3	産業動物の分類	ウシ、ブタ、ニワトリ	生物学的分類位置について説明する。
4	産業動物の生産性	ウシ	生殖器の形態とその機能について説明する。
5		ブタ	
6		ヒツジ	
7		ヤギ	
8		ウマ	
9		ニワトリ	
10	産業動物のコミュニケーション	雌雄間、母子間	交尾行動、母性行動について説明する。
11			
12			
13	産業動物の病気	牛の乳房炎、豚コレラ	原因、症状、治療、予防について説明する。
14	産業動物の福祉	動物の愛護および管理	環境エンリッチメントについて説明する。
15	まとめ		

科目名	動物繁殖学	履修時期	2年3期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	生物はそれぞれの種の寿命に応じて、個体としての生物は死に至ります。しかし、個体の死を超えてその個体の生物としての「生」を継承します。これこそが正に繁殖です。繁殖は生命の根源であり、繁殖学は極めて重要な学問的課題です。				
教育内容	子孫を残すために必要な機能を生殖機能と言います。雄の場合には精子の生産、性欲、勃起、射精に関する能力、雌の場合には発情、排卵、受精、分娩、哺乳などに関する能力が挙げられます。これらの機能を司る脳神経系について理解を深めることが大切です。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書1巻、 ネズミをめぐるアンドロロジー（副読本：性をめぐる生物学、母性をめぐる生物学）				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	性の誕生		
2	無性生殖から有性生殖への進化		
3	性の決定	①染色体による性分化	
4	性の決定	②生殖器の性分化	
5	性の決定	③脳の性分化	
6	性的二型核（SDN-POA）とストレス		
7	雌の生殖器の構成		
8	性周期、受精、着床、妊娠		
9	分娩、後分娩発情（排卵）、哺乳		
10	母子間コミュニケーションによる絆		
11	雄の生殖器の構成		
12	精子の形成		
13	交尾行動パターン		
14	生殖行動と神経内分泌系		
15	生殖行動と脳神経系		

科目名	動物繁殖学	履修時期	2年4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	犬・猫を主に動物の生殖器構造機能の相違点を理解する。雌・雄の解剖学的生殖器の違いを理解し、生殖機能としての生命の働きと営みの関連を系統だてて修得する。生殖器の発生と性の決定と分化を認識し、繁殖生理・性行動・妊娠・分娩・および避妊と去勢の意義を理解する。助産と疾病予防の認識をし、常に動物と共存するための基本的知識をばぐくめる指導者になれるよう、やさしい繁殖生理を修得する。				
教育内容	生殖器系の生理と内分泌系における性周期を述べ、雄雌の生殖器構造と性分化の過程を説明する。犬と猫の発情周期と性行動を把握させる。犬猫以外の生殖器の構造と性行動を述べる。受精と妊娠および妊娠診断、正常分娩および異常分娩とその対処について説明する。産褥期の母体管理及び新生子の管理を修得する。				
教科書・教材	プリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書1巻				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	繁殖器系生体生理学	繁殖生殖器の構造	雄の生殖器の構造を理解し、動物種による違いを修得する。
2		繁殖生殖器の構造	雌の生殖器の構造を理解し、動物種による違いを修得する。
3		性の決定	性がどのように決定するか、生命体の神秘を説明する。
4		性の分化・遺伝	性の分化がもたらす過程を熟知し、複数決定分化のかかわりを述べる。遺伝の仕組みとDNA分裂を説明する。
5		性腺機能の調節	雄性性腺機能の内分泌について説明する。
6		性腺機能の調節	雌性性腺機能の内分泌について説明する。
7		性周期	卵巣周期(卵胞・黄体の機能と周期による変化)・発情周囲その他の周期を述べる。
8		性周期	交配適期・診断・膣スミアの診断と身体一般検査の要領を理解し、補助の熟知をする。
9	受精から分娩	受精から妊娠までの仕組み	繁殖の仕組みを説明する。
10		受精から妊娠までの仕組み	出産における内分泌の仕組みを説明する。
11		分娩の仕組み	分娩の正常と異常、注意することを述べる。
12		新生児の看護	新生児の看護と扱い方の指導。
13	生殖器系疾患	生殖器系疾患	雄の疾患：原因と症状と治療・対処・看護。
14		生殖器系疾患	雌の疾患：原因と症状と治療・対処・看護。
15	総復習		

科目名	動物生活環境学	履修時期	2年4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	動物の行動様式を理解した上で、現代社会において人とペットの共生のために必要な生活環境のあり方について理解し、実践、助言できる知識を習得する。				
教育内容	家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の現状や設備、管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減する他の方法や飼育マナーについて学ぶ。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻				
評価法	定期試験、小試験、授業態度（補講の出席票含む）				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	人とペットの共生のための生活環境のあり方を踏まえたペットの飼養環境整備	飼養環境整備	動物行動学を踏まえた人とペットのための飼養環境整備の必要性や方法（問題行動予防を含む）について理解する。 ペット共生住宅の現状、環境整備、管理の方法について理解する。
2			
3			
4			
5		ペットツーリズム関連施設、ドッグラン	ペットツーリズムの現状と実施方法について理解する。 ペット同伴宿泊ホテルの環境整備・管理の方法について理解する。 ドッグランの環境整備・管理の方法を理解する。 ペット関連のイベント活動の企画運営や地域振興について理解する。
6			
7		保護収容施設	動物シェルターや災害時の避難施設の環境整備・管理の方法、シェルターメディスンについて理解する。 動物愛護管理センターの役割、施設の概要、普及啓蒙活動について理解する。
8			
9	ペットへの教育・訓練施設		動物の社会化トレーニングの意義、必要性、方法、施設等について理解する。
10			
11	ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応	動物介在教育施設	学校飼育動物等の環境整備・管理の方法について理解する。
12			
13			
14			飼育マナーの必要性や目的について理解する。 飼育マナーの歴史、地域における飼育マナーの違いについて理解する。 地方自治体において定められている飼育マナーに関する各種条例について理解する。
15			愛玩動物の種類別に必要とされている飼育マナーについて理解する。 ペット保険の仕組みと実態について理解する。

科目名	ペット関連産業概論	履修時期	2年2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	1) ペット関連産業における職業倫理 1-①責任と社会的役割を理解する 1-②商取引における関連法規の概要について理解する 1-③動物の愛護および管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法について理解する 2) ペットの飼養実態と市場規模 2-①ペット飼養実態およびペット関連産業の概要・市場規模について理解する 3) 各ペット産業の現状と課題 3-①ペットフード、ペット用品、ペット関連サービス（生体分野、美容・ヘルスケア分野、レクリエーション・観光分野、葬儀・霊園分野、ペット共生住宅・マンション分野など）の現状と課題を理解する 4) 動物取扱業 4-①動物取扱業制度の概要について理解する 4-②動物取扱責任者として業務実施のために必要な実践的知識と動物の取り扱い方法や衛生管理に係る手法について理解する				
教育内容	ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻、プリント				
評価法	出席状況、授業態度、定期試験など				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	ペット産業における責任と役割	倫理と責任、コンプライアンス	責任と社会的役割を理解する（職業倫理）。
2	商取引における関連法規の概要①	日本国憲法と法律	憲法と法律の違いを理解する。
3	商取引における関連法規の概要②	民法及び商法の概要と関連の法律用語	左記の法律の目的とその違い把握し、商取引における契約行為について理解する。
4	商取引における関連法規の概要③	動物愛護管理法及びペットフード安全法の概要	左記の法律の理念と目的を把握し、事前説明の意義や必要性、実施方法について理解する。
5	商取引における関連法規の概要④	消費者契約法、労働基準法、個人情報保護法の概要	左記の法律の概要を理解し、具体的な業務上の注意すべき内容についても理解する。
6	動物愛護管理法に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法	第一種動物取扱業での生体販売の方法と法的規制	第一種動物取扱業での生体販売の具体的方法を理解する。
7	ペットの飼養実態と市場規模	ペット飼養とペットビジネスの変遷	ペット飼養実態の概要・市場規模について理解する。
8	各ペット産業の市場規模	ペット関連ビジネスの変遷	ペット関連産業の概要・市場規模について理解する。
9	各ペット関連産業の現状と課題①	ペット産業の分類と動物病院の現状	動物病院とその従事者の現状について理解する。
10	各ペット関連産業の現状と課題②	動物病院以外のペット産業と関連サービスの現状	動物病院以外のペット産業と関連サービス業の把握、及びそれらの課題を理解する。
11	動物取扱業①	動物取扱業制度の概要	動物取扱業制度の概要について理解する。
12	動物取扱業②	動物取扱業制度の内容	第一種動物取扱業と第二種動物取扱業の違いを理解する。
13	動物取扱責任者として業務実施のために必要な実践的知識と動物の取扱方法及び衛生管理①	飼養設備に備える設備の規模の基準	飼養設備に備える設備の規模の基準について理解する。
14	動物取扱責任者として業務実施のために必要な実践的知識と動物の取扱方法及び衛生管理②	ケージ等および訓練場の構造等の基準	ケージ等および訓練場の構造等の基準について衛生管理も含めて理解する。
15			

科目名	適正飼養指導論 I	履修時期	2年1期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	愛玩動物看護師として飼い主に適切な動物の飼養方法を伝えられるようになるために必要な知識を身につける。				
教育内容	日本における愛玩動物の飼育の現状を知り、愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻				
評価法	定期試験、授業態度				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	愛玩動物の飼養	日本の現状について	日本の愛玩動物飼育の現状について学び適正飼養を促進する。
2		法律のなかの適正飼養	動物の適正使用に関わる法律について学び適正飼養を促進する。
3		動物福祉から考えた適正飼養①	動物福祉に関して学び適正飼養に活かせるようになる。
4		動物福祉から考えた適正飼養②	動物福祉に関して学び適正飼養に活かせるようになる。
5		人間が受ける影響①	人が動物から受ける影響について学ぶ。
6		人間が受ける影響②	人が動物から受ける影響のデメリットについて学ぶ。
7	動物終末期ケア	動物終末期ケア総論	終末期ケアについて必要な知識を身につける。
8		動物看護師の役割	終末期ケアにおける動物看護師の役割について学び必要な支援について理解する。
9		動物医療グリーフケア	グリーフケアについて学び実践する力を身につける。
10		ペットロス	ペットロスについて学び飼い主をサポートできるようになる。
11	適正飼養の推進	適正飼養の支援	行政や民間の適正飼養の支援について学ぶ。
12		動物取扱業における適正飼養①	動物取扱業における適正飼養について学ぶ。
13		動物取扱業における適正飼養②	動物取扱業における適正飼養の問題点について学ぶ。
14		過剰繁殖の問題	愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策について学ぶ。
15		適切な飼養方法	動物の適切な選択に関わる事項について学ぶ。

科目名	適正飼養指導論Ⅱ	履修時期	2年2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	愛玩動物看護師として飼い主に適切な動物の飼養方法を伝えられるようになるために必要な知識を身につける。				
教育内容	日本における愛玩動物の飼育の現状を知り、愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻				
評価法	定期試験、授業態度				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	適正飼養の推進	適切な飼養方法	動物の適切な選択に関わる事項について学ぶ。
2		飼い主に指導すべき事項	適正飼養に関わる要因について学ぶ。
3		飼い主に指導すべき方法	適正使用において飼い主が用いるべき方法について学ぶ。
4	災害危機管理と支援	救護対策ガイドライン	災害およびペットの救護対策ガイドラインについて学ぶ。
5		同行避難	同行避難の意義、問題点について学ぶ。
6		基本的な視点	災害時に必要な自助について学ぶ。
7		平常時の飼い主の備え	飼い主に指導すべき防災対策について学ぶ。
8		災害時の飼い主の備え	災害発生時の飼い主が取るべき行動について学び指導できるようになる。
9		動物看護師の役割	平時及び災害時における動物看護師の役割について学ぶ。
10	動物愛護管理行政	動物愛護管理行政とは①	動物愛護管理行政の役割と現状について学ぶ。
11		動物愛護管理行政とは②	動物愛護管理行政の役割と現状について学ぶ。
12		適正飼養の普及啓発	行政の適正飼養普及啓発活動とその現状について知る。
13		犬と猫の引き取り	自治体における犬猫の引き取りについて学ぶ。
14		負傷動物の収容	自治体における負傷動物の収容について学ぶ。
15		動物取扱業の規制	動物取扱業者の規制と動物取扱責任者について学ぶ。

科目名	動物医療コミュニケーション	履修時期	2年1期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	これまでに学習した専門知識を活かし、専門職の観点から飼い主啓発をすすめる。 飼い主様や院内スタッフコミュニケーション能力を身につける。				
教育内容	主に受付での飼い主様とのコミュニケーション、社会人としての接遇を学ぶ。				
教科書・教材	プリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻				
評価法	定期試験、小試験、授業態度				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	院内コミュニケーション①	事務教育	職業人としての身だしなみ、言葉遣い、コミュニケーション能力、報告・連絡・相談の重要性を理解する。
2	院内コミュニケーション②	事務教育	職業人としての身だしなみ、言葉遣い、コミュニケーション能力、報告・連絡・相談の重要性を理解する。
3	クライアントコミュニケーション①	ノミ・ダニ	ノミ・ダニを理解し、飼い主様に予防方法を説明できる。
4	クライアントコミュニケーション②	ノミ・ダニ	ノミ・ダニを理解し、飼い主様に予防方法を説明できる。
5	クライアントエデュケーション③	フィラリア	フィラリアを理解し、飼い主様に予防方法を説明できる。
6	クライアントエデュケーション④	狂犬病	狂犬病を理解し、飼い主様に予防方法を説明できる。
7	クライアントエデュケーション⑤	ワクチン	ワクチンを理解し、飼い主様に予防方法を説明できる。
8	クライアントエデュケーション⑥	不妊手術	去勢・避妊を理解し、飼い主様に予防方法を説明できる。
9	院内業務①	受付	状況に応じた飼い主様対応を理解する。
10	院内業務②	案内	主に診察室での飼い主様とのコミュニケーションについて理解する。
11	院内業務③	電話対応	電話対応を理解する。
12	院内業務④	電話対応	電話対応を理解する。
13	院内業務⑤	クレーム対応	不快感情の顧客心理について理解し、適切な対応を学ぶ。
14	院内業務⑥	会計業務	会計業務(清算・ペット保険)を理解する。
15	まとめ		

科目名	動物内科看護学Ⅱ	履修時期	2年1期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	内科診療では罹患している動物の原因疾患を身体診察や検査から明らかにし、内科的治療法を確立する。内科診療に携わるためには内科疾患の知識が必要不可欠である。1年時に学んだ生理学の知識をもとに疾患を本質的に理解することを目標とする。				
教育内容	獣医臨床において遭遇する機会の多い内科疾患を系統別に説明する。				
教科書・教材	プリント、愛玩看護師カリキュラム準拠教科書7巻				
評価法	出席状況、定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	内科疾患について	循環器の疾患	心臓の解剖および機能を理解し、心臓病の病態を理解する。
2		循環器の疾患	各種先天性および後天性心疾患の病態および検査法を理解する。
3		呼吸器の疾患	呼吸器の機能を理解し、呼吸器疾患の病態を理解する。
4		呼吸器の疾患	各種呼吸器疾患の病態を理解する。
5		内分泌の疾患	各種ホルモンの分泌臓器およびホルモンの役割を理解する。
6		内分泌の疾患	各種内分泌疾患の病態を理解する。
7		泌尿器の疾患	泌尿器の機能を理解し、泌尿器疾患の病態を理解する。
8		泌尿器の疾患	各種泌尿器疾患の病態を理解する。
9		消化器の疾患	消化管機能を理解する。
10		消化器（消化管）の疾患	消化管（口腔～腸管）疾患の病態を理解する。
11		消化器（肝・胆・膵）の疾患	消化器（肝・胆・膵）疾患の病態を理解する。
12		ワクチン	ワクチンの目的、種類、ワクチンプログラムを理解する。ワクチンに組み込まれているウイルス疾患の病態を理解する。
13		神経疾患	代表的な神経疾患の病態を理解する。
14		皮膚疾患	代表的な皮膚疾患の病態を理解する。
15		眼科疾患	代表的な眼科疾患の病態を理解する。

科目名	動物内科看護学Ⅲ	履修時期	2年2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	疾病の動物を診察してその疾病の原因を明らかにすると共に、適切な診断および治療法を実践することが動物内科看護学の目的である。内科系疾患の多くは生体の恒常性に破綻を来した状態であると考えられることができる。本講義では、各疾患の基礎知識を習得し、動物のQOLの向上を図ることを目標とする。				
教育内容	獣医臨床において遭遇する機会の多い内科疾患を臓器別にそれぞれ講述する。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻、プリント				
評価法	出席状況、小試験、授業内課題、定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	内科疾患について	循環器の疾患	心臓の解剖および機能を理解し、心臓病の病態を理解する。心疾患の検査方法とその評価法を理解する。
2		循環器の疾患	各種先天性および後天性心疾患の病態について理解する。心疾患（特に後天性心疾患）の臨床について理解する。
3		呼吸器の疾患	呼吸器系の役割を理解し、呼吸器疾患の原因や病態を理解する。
4		呼吸器の疾患	鼻腔、気道、肺の疾患のそれぞれの臨床徴候、検査方法とその解釈および治療法を理解する。
5		内分泌の疾患	各種ホルモンの分泌異常と、疾患について理解する。
6		内分泌の疾患	代表的な内分泌疾患の臨床徴候や病態、治療法を理解する。
7		泌尿器の疾患	泌尿器系の機能を理解する。 泌尿器疾患の原因および病態について理解する。
8		泌尿器の疾患	代表的な泌尿器疾患の臨床徴候および治療法を理解する。
9		消化器（消化管）の疾患	消化管機能を理解する。代表的な消化管疾患の原因および病態を理解する。
10		消化器（消化管）の疾患	各消化器疾患の臨床徴候および治療法を理解する。
11		消化器（肝・胆・膵）の疾患	消化管付属器官（肝・胆・膵）疾患の病態および治療法を理解する。
12		ワクチン	ワクチンの目的、種類、ワクチンプログラムを理解する。ワクチンに組み込まれているウイルス疾患の病態を理解する。
13		イヌ糸状虫症について	イヌ糸状虫症のライフサイクル・病態・予防等を理解する。
14		血液検査と血液疾患	全血球計算(CBC)、血液生化学検査における正常値・異常値とその評価
15		皮膚疾患、アレルギーと免疫介在性疾患	皮膚糸状菌症、膿皮症、I型～IV型アレルギー

科目名	動物臨床検査学	履修時期	2年3期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	生体から得られた各種材料を無駄なく採取し、補助としても病院でのスムーズな検査工程が遂行出来るように、採取材料の取り扱いの意義を修得する。基本的な知識、およびスクリーニング検査、特殊検査の知識を修得し、生体に及ぼす影響を理解する。生体検査は迅速かつ正確な情報の提供ができるよう、常に動物の最善の状態を認識する。				
教育内容	生体検査の主な種類と意義を理解する。血液検査、血液生化学検査、糞便検査、尿検査、細胞診における検査意義を理解し、正常値、異常値および動物の生体異常の認識を常に持てるように、病院臨床の応用と関連つけた指導でわかりやすく説明をする。生体検査での機器の操作に準じた、安全かつ正確な動物の扱い方を述べ、検査意義の修得をするとともに、動物の生体状況が検査値より認識・読影できるようにする。				
教科書・教材	プリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	臨床検査	眼科耳鼻科検査	耳垢・外部寄生虫・各種眼科染色テストの意義を述べる。
2		皮膚科検査	免疫検査・スクレーピング検査・培養・細胞診を説明する。
3		血液検査	スクリーニング検査の意義を述べる。 採取、処理の認識を熟知する。
4		血液検査	採血準備・塗抹方法について述べる。 細胞の観察を熟知し、細胞分類を説明する。
5		血液検査	HT値・CBC・生化学検査の意義をのべる。正常値を熟知し、異常値での疾病との関連を理解できるように説明する。
6		顕微鏡検査・糞便検査	顕微鏡の扱い方を熟知し、糞便の肉眼的検査での異常値および客観的な情報を説明する。
7		糞便検査	糞便検査での化学的検査の意義と主義を熟知し、正確な情報からの生体の状況を説明する。
8		尿検査	尿の採取による検査意義の違いを説明し、各検査内容を把握しながら、異常値を熟知する。
9		尿検査	尿の遠心機器を使用し、いかに的確な作業が欲しられているか説明する。
10		骨髄検査	骨髄検査野特殊技法について説明し、補助の意義を述べる。
11	生体検査	X線検査・CT・MRI	レントゲン・CT・MRでの動物の扱い方を熟知し、読影方法及びアーティファクトについて説明する。
12		心電図検査	操作方法及び動物の保定と生態に対する安全かつ安心の操作について述べる。
13		超音波検査	補助についての知識を理解し、常に動物の状態を平静に保てる知識を熟知する。
14		内視鏡検査	特殊検査での動物の扱い方の熟知と検査目的の意義を述べる。
15	総復習		

科目名	動物外科看護学 I	履修時期	2年3期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	各臓器のどのような疾患に外科的処置が必要となるか知り、その処置方法にはどのようなものがあるかを知る。そのうえで、処置後に起こり得る変化および対処方法を理解する。そして、順調な回復のための動物管理の重要性を知る。				
教育内容	各臓器に生じる外科疾患にはどのようなものがあるかを説明できるようになる。また、各異常の診断や治療の方法にはどのようなものがあるかを理解でき、実施のための準備、補助などを述べられるようになる。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8・9巻				
評価法	定期試験、授業態度				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	創傷	創傷の種類・治療	創傷の種類および創傷治癒の機序について説明する。
2		創傷の管理	創傷の処置方法、看護方法を説明する。
3	ヘルニア	体表に発生するヘルニア	体表に発生するヘルニアの臨床症状、診断方法、治療、看護方法について説明する。
4	生殖器疾患	雌の生殖器疾患	卵巣、子宮の外科疾患について臨床症状、診断、治療、看護方法を説明する。帝王切開の方法および準備、補助方法を説明する。
5		雌の生殖器疾患	乳腺の外科疾患について臨床症状、診断、治療、看護方法を説明する。
6		雄の生殖器疾患	精巣、前立腺の外科疾患について臨床症状、診断、治療、看護方法を説明する。
7		不妊、去勢手術・帝王切開	不妊手術、去勢手術、帝王切開について意義・方法を説明する。
8	泌尿器疾患	腎臓、尿管の外科疾患	腎臓、尿管の外科疾患の臨床症状、診断、治療、看護方法を説明する。
9		膀胱、尿道の外科疾患	膀胱、尿道の外科疾患の臨床症状、診断、治療、看護方法を説明する。
10	呼吸器疾患	咽喉頭、気管の外科疾患	咽喉頭、気管の外科疾患について臨床症状、診断、治療、看護方法について説明する。
11		肺、胸腔の外科疾患	肺、胸腔の外科疾患について臨床症状、診断、治療、看護方法について説明する。
12	消化器疾患	肝臓、胆嚢の外科疾患	肝臓、胆嚢の外科疾患の特徴および診断、治療、看護方法について説明する。
13		胃、小腸の外科疾患	胃および小腸の外科疾患の特徴および診断、治療、看護方法について説明する。
14		大腸の外科疾患	大腸の外科疾患の特徴および診断、治療、看護方法について説明する。
15		肛門、脾臓の外科疾患	肛門、脾臓の外科疾患の特徴、診断、治療、看護方法について説明する。

科目名	動物外科看護学Ⅱ	履修時期	2年4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	麻酔管理を含めて、周術期の動物看護について学ぶ。 運動器あるいは神経系に異常をもつ動物の特徴と看護方法を学ぶ。				
教育内容	麻酔法の種類、周術期の疼痛や栄養などを含めた麻酔の管理方法を理解し、問題対処時の補助方法が説明できるようになる。 運動障害や神経障害などの異常をもつ動物の特徴を理解し看護方法を説明できるようになる。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8・9巻				
評価法	定期試験、授業態度				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	麻酔	麻酔の実施方法	麻酔の実施方法について説明し、看護時の注意点を説明する。
2		麻酔管理	麻酔時の動物管理について説明し、看護時の注意点を説明する。
3		実施前の インフォームドコンセント	麻酔実施前に必要なインフォームドコンセントについて説明し、看護時の注意点を説明する。
4		モニタリング	周術期のモニタリングについて説明し、看護時の注意点を説明する。
5		モニタリング	手術時の各モニターの操作方法、維持管理方法、およびその測定値の解釈、対処方法について説明する。
6		疼痛管理	手術時の疼痛の発生機序、および疼痛の管理方法について説明し、看護時の注意点を説明する。
7		栄養管理	周術期の栄養管理について説明し、看護時の注意点を説明する。
8	運動障害	骨疾患	骨疾患の診断、治療および看護時の注意点を説明する。
9		関節疾患	関節疾患の診断、治療および看護時の注意点を説明する。
10		脊髄疾患	脊髄疾患の診断、治療および看護時の注意点を説明する。
11		神経学的検査	神経学的検査方法および検査補助時の注意点を説明する。
12		理学療法	理学療法について説明し、看護時の注意点を説明する。
13	救急疾患	救急疾患	救急処置が必要な疾患について説明し、看護時の注意点を説明する。
14		救急救命処置	救急救命処置について説明し、実施補助時の注意点を説明する。
15		止血処置	止血について説明し、実施補助時の注意点を説明する。

科目名	動物臨床看護学各論 I	履修時期	2年1期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	小動物診療の中心となる犬および猫の皮膚病を理解することにより、より質の高い動物看護が実施できることを目指す。また、ズーノーシスを含めて感染性疾患を理解することにより、動物だけでなく、飼い主様、そして自分自身の健康を守らなければいけない立場に立つことを認識する。また、この知識をもとに飼い主様へより質の高い対応ができる力を養う。				
教育内容	皮膚の構造および機能がどうなっているのかということから始まり、そこに生じる異常の原因や進行過程を学び、さらに異常の診断や治療はどのように行われるのかを説明できるようになる。また、診断や治療のための準備および補助などを述べられるようになる。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書9巻				
評価法	定期試験、授業態度				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	皮膚疾患の基礎	皮膚の構造と機能	皮膚疾患が生じる皮膚の構造を説明する。 皮膚の持つ機能を説明する。
2	皮膚疾患の診察	皮膚疾患の診断方法	皮膚病で来院した患者様への問診の方法を列挙し、皮膚疾患の視診について説明する。
3		皮膚疾患の検査方法	皮膚疾患の各種検査方法について説明する。
4		皮膚疾患の検査方法	皮疹の種類とその臨床的意味を説明する。
5	皮膚の代表的な疾患	感染性皮膚疾患	真菌性皮膚疾患について説明し、看護時の注意点を説明する。
6		感染性皮膚疾患	寄生虫性皮膚疾患について説明し、看護時の注意点を説明する。
7		感染性皮膚疾患	細菌性皮膚疾患について説明し、看護時の注意点を説明する。
8		感染性皮膚疾患	ズーノーシスを含めて感染性皮膚疾患の管理について説明する。
9		内分泌性皮膚疾患	内分泌性皮膚疾患を全身性の変化を含めて説明し、看護時の注意点を説明する。
10		免疫関連性皮膚疾患	アレルギー性皮膚疾患について説明し、看護時の留意点について説明する。
11		免疫関連性皮膚疾患	免疫介在性皮膚疾患について説明し、看護時の留意点について説明する。
12		遺伝性皮膚疾患・代謝性皮膚疾患	遺伝性及び代謝性皮膚疾患を説明し、看護時の留意点を説明する。
13		皮膚に発生する腫瘍	皮膚に発生する腫瘍を説明し、看護師の留意について説明する。
14	皮膚疾患の治療法	皮膚疾患の全身療法	皮膚疾患に対する全身治療薬について説明する。
15		皮膚疾患の局所治療法	皮膚疾患に対する外用薬、シャンプー療法について説明する。

科目名	動物臨床看護学各論Ⅱ	履修時期	2年2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	外耳炎を代表とする耳道疾患や眼科疾患、および歯周病を中心にした口腔内疾患を中心に小動物の耳、眼、口腔に生じる種々の異常を理解する。さらに、その管理には日々の正しいケアが必要なことを認識する。この知識をもとに飼い主様へのより質の高い対応が可能になるように力を養う。				
教育内容	耳、眼、口腔の構造を知るとともに、その生理や機能を説明できるようになる。また、耳、眼、口腔に生じる種々の異常の種類および臨床症状、診断方法、治療方法を理解する。さらに、診断や治療の準備、補助方法などを述べられるようにする。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書9巻				
評価法	定期試験、授業態度				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	耳道疾患の基礎	耳道の構造・機能・検査	耳道の構造、機能、検査方法について説明する。
2	代表的な耳道疾患	耳道疾患	耳道疾患の臨床症状、診断方法、検査方法、治療方法、看護方法について説明する。
3	眼科疾患の基礎	眼の構造、機能	眼の構造、機能について説明する。
4	眼科疾患の診察	眼科検査	眼科検査の方法および検査時の保定方法について説明する。
5		眼科検査	眼科検査に使用される器具の種類、使用方法について説明する。
6	代表的な眼科疾患	眼瞼、角膜の疾患	眼瞼、角膜の疾患について臨床症状、検査、診断、治療方法、看護方法について説明する。
7		結膜、瞬膜の疾患	結膜、瞬膜の疾患について臨床症状、検査、診断、治療方法、看護方法について説明する。
8		ブドウ膜、水晶体、網膜の疾患	ブドウ膜、水晶体、網膜の疾患について臨床症状、検査、診断、治療方法、看護方法について説明する。
9	口腔疾患の基礎	口腔および歯の構造、機能	口腔の構造および機能について説明する。
10	口腔の診察	口腔検査	口腔および歯の検査に使用される器具の種類、使用方法について説明する。
11		口腔内疾患	歯周病について臨床症状、検査、診断方法、治療方法、看護方法について説明する。
12		口腔内疾患	歯牙疾患、口腔内腫瘍、口蓋裂について臨床症状、検査方法、診断方法、治療方法、看護方法について説明する。
13		口腔疾患の予防処置	歯周病予防のための口腔内処置の方法および準備、補助方法について説明する。
14		歯科処置	口腔の外科手術および歯牙疾患の処置方法および管理および、そのための準備、補助方法を説明する。
15	腫瘍性疾患	感覚器および口腔に発生	耳、眼、口腔に発生する腫瘍について臨床症状、検査診断法する腫瘍および治療法、看護法について説明する。

科目名	動物臨床看護学各論Ⅲ	履修時期	2年3期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	獣医療に関わる専門職である動物看護師の職務について、また様々な症状の動物に対する看護介入、援助について理解できる。				
教育内容	動物看護師は、獣医師の診断と治療方針のもとで動物の補助や飼い主を支える専門職として重要な役割を担う。動物看護師の職務を知り、種々の症状を呈する動物に対して、その疾患について理解するとともに、どのような看護介入、援助を行うことができるかを学ぶ。				
教科書・教材	プリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書9巻				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	動物看護学概論	動物看護師の職務と動物看護倫理	動物看護師の職務と、倫理綱領について理解できる。
2	動物看護技術の基盤	動物看護の観察、記録と報告	動物看護の観察、記録と報告の方法について理解できる。
3	症状別の動物看護	食欲不振の動物看護	食欲不振を引き起こす原因疾患について学び、その際の看護介入援助について理解できる。
4			
5			
6	症状別の動物看護	多飲多尿	多飲多尿を引き起こす原因疾患について学び、その際の看護介入援助について理解できる。
7			
8			
9	症状別の動物看護	循環機能障害	循環機能障害を引き起こす原因疾患について学び、その際の看護介入援助について理解できる。
10			
11			
12			
13	症状別の動物看護	呼吸機能障害	呼吸機能障害を引き起こす原因疾患について学び、その際の看護介入援助について理解できる。
14			
15	まとめ		

科目名	動物臨床看護学各論Ⅳ	履修時期	2年4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	様々な症状の動物に対する看護介入、援助について理解できる。				
教育内容	動物看護師は、獣医師の診断と治療方針のもとで動物の補助や飼い主を支える専門職として重要な役割を担う。動物看護師として種々の症状を呈する動物に対して、その疾患について理解するとともに、どのような看護介入、援助を行うことができるかを学ぶ。				
教科書・教材	プリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書9巻				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	症状別の動物看護	呼吸機能障害	呼吸機能障害を引き起こす原因疾患について学び、その際の看護介入援助について理解できる。
2			
3	症状別の動物看護	栄養摂取、代謝障害	栄養摂取、代謝障害を引き起こす原因疾患について学び、その際の看護介入援助について理解できる。
4			
5	症状別の動物看護	生体防御機能障害	生体防御機能障害を引き起こす原因疾患について学び、その際の看護介入援助について理解できる。
6			
7			
8	症状別の動物看護	神経運動機能障害	神経運動機能障害を引き起こす原因疾患について学び、その際の看護介入援助について理解できる。
9			
10	症状別の動物看護	繁殖機能障害	繁殖機能障害を引き起こす原因疾患について学び、その際の看護介入援助について理解できる。
11			
12	症状別の動物看護	排泄機能障害	排泄機能障害を引き起こす原因疾患について学び、その際の看護介入援助について理解できる。
13			
14			
15	まとめ		

科目名	動物臨床看護学実習 I	履修時期	2年 1,2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	現場で活用できる知識の基礎を身につける。				
教育内容	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を取得する。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト第3版、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻、プリント				
評価法	授業態度、出席日数、提出物、定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	臨床看護	動物看護記録①	動物看護記録を理解する。
2			動物看護記録を作成する。
3		動物看護記録②	動物看護記録を作成する。
4			動物看護記録を作成する。
5		動物看護計画	動物看護計画を作成できる。
6			
7		動物看護過程の実践①	事例演習
8			
9		動物看護過程の実践②	事例演習
10			
11		動物看護過程の実践③	事例演習
12	まとめ		

科目名	動物臨床看護学実習Ⅱ	履修時期	2年3,4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	個々で学んだ知識を活かし考えチームで協力しながら看護ができるようにする。				
教育内容	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を取得する。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻、プリント				
評価法	授業態度、出席日数、提出物、定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	臨床看護	入院及び栄養管理①	入院動物の管理、アセスメントを理解する。
2			
3		入院及び栄養管理②	ケージ清掃、管理を理解し実践する。
4			
5		入院及び栄養管理③	栄養チューブや流動食について理解し実践する。
6			
7		動物看護過程の実践①	事例を通して動物看護アプローチの個性を理解する。
8			
9		動物看護過程の実践②	症状や入院・治療が看護動物と家族に及ぼす影響を理解する。
10			
11		動物看護過程の実践③	事例演習
12	まとめ		

科目名	動物内科看護学実習Ⅱ	履修時期	2年 1,2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	1年時の看護実習で学んだ内容を復習しながらさらに理解を深める。				
教育内容	動物や検体(尿や血液など)を用いて実習を行う。				
教科書・教材	プリント、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻				
評価法	出席状況、レポート提出、定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	一般臨床で行う検査	診療の流れ・インフォームドコンセントについて	診療の流れを理解する。インフォームドコンセントを理解する。
2		身体検査	身体検査の意味を復習し、身体検査を実施できるようになる。
3		血液塗抹標本作製・観察	血液塗抹標本の作製を復習し、標本を観察する。
4		尿検査	尿検査法を復習し、結果の解釈を理解する。
5		糞便検査	糞便検査法を復習する。
6		食事・薬の経口投与方法	食事の強制給餌や薬の経口投与方法を習得する。
7		療法食について	療法食の特徴を理解する。
8		アンプル・バイアルについて 注射器の取り扱い	アンプルおよびバイアルの違いを理解する。 注射器の取り扱い方を習得する。
9		留置針、点滴の準備 手術準備について	留置針や点滴機器の準備を理解する。 手術準備の基本について理解する。
10		神経学的検査	神経学的検査の意味を理解する。
11		X線検査（保定・読影の基本）	X線検査時の保定法および基本的な読影法を理解する。
12		輸液量・投薬量の計算	輸液や処方する薬剤量の計算法などを習得する。

科目名	動物内科看護学実習Ⅲ	履修時期	2年3,4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	健康管理や内科診療に必要な手技などを理解し、自ら必要な物を準備し補助ができる。				
教育内容	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト第3版、プリント				
評価法	出席日数、授業態度、提出物、定期試験、実技試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	身体検査	全身評価	全身状態・バイタルサイン評価ができる。
2	診察補助	マイクロチップ	マイクロチップについて理解する。
3	診察補助	尿検査	尿検査の手順を理解し準備ができる。
4	診察補助	糞便検査	糞便検査の手順を理解し準備ができる。
5	生体検査	眼科・耳道検査	眼科・耳道検査の手順を理解し準備ができる。
6	生体検査	X線検査	X線の基本的な保定を実施することができる。
7	診察補助	薬剤	経口投与・注射の手順を取得する。
8	診察補助	薬剤	経口投与・注射の手順を取得する。
9	診察補助	輸液	留置針の手順を取得し準備及び補助できる。
10	診察補助	輸液	輸液ポンプ・シリンジポンプを使用できる。
11	診察補助	輸液	輸液中の動物を管理できる。
12	実技試験		

科目名	動物臨床検査学実習Ⅱ	履修時期	2年2,3期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	診療現場に必要な検体検査および生体検査に関する意義を理解する。手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践を修得する。検査における動物看護師の役割を理解し、臨床検査の目的を、解剖学、生理学知識とともに、検体検査および生体検査の各目的を理解し、検査を実践できる。				
教育内容	採取した検体を用いた検査では、尿検査、糞便検査の方法を理解し、実践する。基礎的一般身体検査で正常・異常の違いを理解する。眼検査、耳鼻科検査、皮膚検査における看護師としての動物の扱い方および保定を修得する。犬およびエキゾチックアニマルの検査における保定と検査の方法を実践する。検体採取および衛生管理を理解する。動物看護師として臨床検査の準備および検査の流れを修得する。				
教科書・教材	動物看護実習テキスト・エキゾチックアニマル哺乳類編・小動物獣医看護学・小動物看護概論				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	耳科検査	耳鏡検査・肉眼的検査	耳科身体検査の項目・評価と正常、異常の違いを理解する。
2		耳垢検査	耳科検査における分泌物採材方法と検査を実施する。
3	眼科検査	眼科検査Ⅰ	眼科身体検査の項目・評価と正常値 分泌物の評価をする。
4		眼科検査Ⅱ	眼科染色法・流涙検査の実施と評価をする。
5	歯科検査	口腔・歯科検査Ⅰ	口腔・歯科検査の項目・評価と正常、異常を理解する。
6		口腔・歯科検査Ⅱ	口腔・歯科検査の臨床的検査方法と手当の仕方を実践する。
7	皮膚科検査	皮膚検査Ⅰ	皮膚所見を見極める、顕微鏡検査で原因の追究方法を学ぶ。
8		皮膚検査Ⅱ	耳垢、毛、皮膚の各検査を実践、培養で微生物の理解をする。
9	神経検査	神経系検査Ⅰ、Ⅱ	姿勢検査、脊髄反射、脳神経系検査による神経系障害を理解する。
10	循環器検査	聴診、打診、触診	異常と正常の確認する。
11	病理検査	組織顕微鏡検査	各臓器の組織を観察する。
12	総合一般臨床検査	まとめ	肉眼的検査・顕微鏡学的検査・染色法を理解する。

科目名	動物臨床検査学実習Ⅱ	履修時期	2年2,3期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	講義で修得した手技に応用力を付けて正確性、迅速性を身に付ける。検査の意義を理解し、手順書を見ないでも一人で責任を持った検査結果を出せるように繰り返し実習し、検査結果の意味と関連性臓器について考察できるように理解する。常に検査結果を基準値と比べ、異常値の場合は獣医師に報告できるように一連の流れを修得する。さらにデータをまとめ飼い主に提示し、検査内容について説明できるように実践する。検体の扱い方、保存法および検査後の検体処理、医療廃棄物の区別を実施する。検査における愛玩動物看護師の役割を理解し、臨床検査の目的を、解剖学、生理学知識とともに、検体検査および生体検査の目的と意義を修得する。				
教育内容	採取した検体を用いた検査では、尿検査、糞便検査、血液検査の方法を理解し、実践する。基礎的一般身体検査で正常・異常の違いを理解する。眼検査、耳鼻科検査、皮膚検査における看護師としての動物の扱い方および保定を修得する。犬およびエキゾチックアニマルの検査における保定と検査の方法を実践する。生体検査では心電図・超音波検査・レントゲン検査の方法を理解する。				
教科書・教材	動物看護実習テキスト・エキゾチックアニマル哺乳類編・小動物獣医看護学・小動物看護概論				
評価法	定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	糞便検査	糞便検査Ⅰ	糞便検査概論・糞便検査の意義と検査方法を理解する。
2		糞便検査Ⅱ	肉眼的検査・化学的検査・顕微鏡学的検査・染色法・集卵法
3		糞便検査Ⅲ	各動物種類の糞便検査を実施し、総合理解をする。
4	尿検査	尿検査Ⅰ	尿検査概論・尿検査の意義と検査方法を理解する。
5		尿検査Ⅱ	肉眼的検査・化学的検査・顕微鏡学的検査・染色法・沈渣
6		尿検査Ⅲ	各動物種類の尿検査を実施し、総合理解をする。
7	血液検査	血液検査Ⅰ	血液検査の意義・採血法・保存法・処理方法
8		血液検査Ⅱ	血液塗抹方法・ヘマトクリット管方法の実践
9		血液検査Ⅲ	血液検査の流れを実践し、臨床現状を理解する。
10	生体検査	心電図	心電図・超音波検査・心電図の保定の実践
11		超音波・レントゲン	心電図・超音波検査・心電図の検査方法の実践
12	総合復習	臨床生体検査まとめ	臨床検査の総復習

科目名	動物外科看護学実習 I	履修時期	2年 3,4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	麻酔および手術の必要性および危険性を理解する。そのうえで、周術期の管理の重要性および実施方法を理解し、必要な技術を習得する。 手術に際して、周術期における動物看護師の役割を理解し、適切な補助が可能になるよう技術を習得する。				
教育内容	麻酔・手術に必要な器具機材および薬品について述べられるようになり、麻酔および手術の準備に熟練する。また、麻酔および手術中の補助方法や動物のモニタリング方法が説明できるようになる。さらに術後の動物および施設あるいは器具機材の管理について説明できるようになる。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻				
評価法	定期試験、実地試験、授業態度				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満を不可とする。				

#### 授業内容 (シラバス)

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	総論	手術施設管理	手術室の構造、手術室の機器、手術室の準備および使用後の作業を習得する。
2		手術室での心得	手術室における細菌汚染を防ぐための心得を理解する。
3	術前管理	消毒・滅菌	手術に必要な器具機材の消毒、滅菌方法を習得する。
4		リネンの管理	術衣、ドレープの準備および使用後の管理方法を習得する。
5		手術器具	各種手術器具の名称と使用方法・使用後の管理方法を習得する。
6		麻酔・手術のための器具機器の準備と使用後の管理	麻酔・手術を実施する直前の器具機材の準備および使用後の管理方法を修得する。
7		麻酔機	吸入麻酔機の構造、使用方法、管理方法を習得する。
8		手術機器	電気メスを含め、手術時に使用される機器の使用方法、管理方法を習得する。
9		手術に関係する人の準備	手洗い方法、サージカルグローブの装着方法を習得する。
10		手術に関係する人の準備	術衣の着用方法、着用補助の方法を習得する。
11		術前の動物の準備	術前の入院措置、留置針、輸液の準備など術前の業務を習得する。
12		術野の準備	手術時の保定、術野の毛刈り消毒を含めた準備の方法を習得する。
13	術中管理	手術補助	縫合に関する基礎的な事柄を習得する。
14		手術補助	縫合糸の結紮方法を習得する。

15		麻酔管理補助	各種モニター機器の意義を理解する。
16		麻酔管理補助	気管内挿管および各種モニター機器の装着方法を習得する。
17		手術補助	術中の外回りの必要性を理解し、習得する。
18		手術補助	手術中の器具出しを習得する。
19		手術補助	手術の助手の役割を理解し、習得する。
20		手術補助	基本的な手術機器の使用方法を習得する。
21	術後管理	麻酔管理補助	麻酔覚醒時の管理の重要性と管理方法を習得する。
22		手術・麻酔管理補助	手術当日の麻酔覚醒後の管理の重要性と管理方法を説明する。
23		手術・麻酔管理補助	術後の入院期間中の管理方法を習得する。
24		包帯法	包帯方法を習得する。

科目名	動物外科看護学実習Ⅱ	履修時期	2年3,4期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	外科看護の基本的な手技に応用力をつけ、より質の良い看護法を身につける。				
教育内容	動物病院での外科看護に必要な知識・技術を学習する。また、問題解決能力や実践能力、応用力を身につける。				
教科書・教材	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト3版、愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻、プリント				
評価法	出席日数、定期試験、実技試験、授業態度				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	周術期看護関連業務	術前看護	薬浴について学ぶ。
2	周術期看護関連業務	術前看護	口腔内看護について学ぶ。
3	周術期看護関連業務	術前看護	術前検査について学ぶ。
4	周術期看護関連業務	術前看護	術前検査について学ぶ。
5	周術期看護関連業務	術前看護	ドレープ・術衣の使用目的、管理、準備の方法を理解する。
6	周術期看護関連業務	術前看護	滅菌方法について学ぶ。 手洗い法、グローピング法、手術着の装着法を習得する。
7	周術期看護関連業務	術前看護	器具について学ぶ。
8	周術期看護関連業務	術中看護	縫合について学ぶ。
9	周術期看護関連業務	術中看護	モニター機器の仕組みを理解し、適切な操作法を習得する モニター数値の正常と異常、対処・報告を理解する。
10	周術期看護関連業務	術中看護	手術助手、器械出し、外回りの仕事を理解する。
11	周術期看護関連業務	術後看護	包帯法について学ぶ。
12	周術期看護関連業務	術後看護	リハビリテーションについて学ぶ。

科目名	動物愛護・適正飼養実習Ⅱ	履修時期	2年1期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	動物看護師に必要な動物の健康管理や飼育管理に関わるトレーニング技術の習得と、動物が人社会で生活する上で必要となるしつけに関する技術を身につける。また、飼い主からのしつけや飼育に関する質問に答えるための知識と技術を身につける。				
教育内容	動物のハンドリング技術、飼育管理技術、トレーニング方法を学び、動物看護師として飼い主に適切な動物との暮らし方について説明できるようにする。				
教科書・教材	スライド資料				
評価法	実習中の実技及び筆記テストにより評価する。				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	動物の飼育管理	犬のボディランゲージ	ボディランゲージについて理解し、ハンドリングに役立てる。
2		犬の嗜好性	嗜好性について理解し、飼育管理やしつけに応用する。
3		犬の運動	散歩の仕方および遊戯行動を学び飼育管理に応用する。
4		排泄行動と休息行動	排泄行動と休息行動について学び飼育管理に応用する。
5		家庭内での環境設定	適切な飼育環境について学び家庭内で設定できるようになる。
6		適切な道具	飼育管理に必要な道具と使い方について理解する。
7	基本的なしつけ	動物の学習①	古典的条件づけについて理解し、実践する。
8		古典的条件づけの応用	古典的条件づけをしつけや問題行動の予防に応用する。
9		動物の学習②	馴化、鋭敏化について理解し、しつけに応用する。
10		基本的なグルーミング	系統的脱感作を用いてグルーミングを行えるようになる。
11		動物の学習③	オペラント条件づけについて理解し、しつけに応用する。
12		反応形成	オペラント条件づけを用いて反応を形成する事ができる。

科目名	動物愛護・適正飼養実習Ⅱ	履修時期	2年2期	実務経験のある教員科目	
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	動物飼育管理実習Ⅰで習得した基礎知識をふまえて、より詳しく学び実践力を習得する。 動物に対する接触態度から、動物の飼養に至るまで、コンパニオンアニマルの飼養管理全般の応用力を身につける。				
教育内容	動物看護師として飼い主さんに説明・指導できるように伴侶動物についての飼育管理方法と技術を学ぶ。 動物の変化にいち早く気づけるように観察力を養う。				
教科書・教材	プリント				
評価法	出席状況、実習態度、実技試験、定期試験				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	動物飼養管理①	犬猫の適正飼養管理方法	犬猫の適正について飼養管理方法についての復習。
2			
3	動物飼養管理②	犬猫の適正飼養管理方法	犬猫の飼育で必要になる予防関係について学び理解する。
4			
5	動物飼養管理③	犬猫の適正飼養管理方法 グルーミング	日常ケアについて学び理解する。 グルーミング方法について学び習得する。
6			
7	動物飼養管理④	保定法	様々な処置に対応した保定方法を学び習得する。
8			
9	動物飼養管理⑤	投薬法	様々な薬剤に対応した投薬方法を学び習得する。
10			
11	動物飼養管理⑥	犬猫の適正飼養管理方法 グルーミング	日常ケアについて学び理解する。 グルーミング方法について学び習得する。
12			

科目名	応用実験動物学 I	履修時期	2 年	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1 単位	授業時間	30 時間
教育目標	実験動物 2 級技術者資格認定試験の合格と実験動物に関する実践的な知識を身につける。				
教育内容	実験動物 2 級技術者資格認定試験は学科試験と実地試験から成り、この両試験に合格することではじめて資格認定されます。本認定試験を受験する方はこの科目を履修しなければなりません。この科目のねらいは、本認定試験の学科試験に合格しうる十分な知識を身につけることです。講義ではこの目的を達成するために、知識の定着を図ります。また、模擬試験とその解説を実施し、各自の実力の確認を行います。実験動物 2 級技術者資格認定試験対策の勉強はとてもハードなものですが、合格したときの喜びはその分大きなものとなるでしょう。一緒に頑張りましょう。				
教科書・教材	実験動物の技術と応用 入門編 (増補改訂版)、基本的な動物の取り扱い				
評価法	定期試験、出席状況、模擬試験結果、資格試験の合否による総合評価				
成績評価	80 点以上を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可で表し、60 点未満は不可とする。				

授業内容 (シラバス)

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	学科試験対策 (総論)	動物実験と実験動物	学科試験に必要とされる「動物実験と実験動物」についての知識を身につける。
2		動物福祉	学科試験に必要とされる「動物福祉」についての知識を身につける。
3		解剖と生理	学科試験に必要とされる「解剖と生理」についての知識を身につける。
4		遺伝と育種	学科試験に必要とされる「遺伝と育種」についての知識を身につける。
5		繁殖	学科試験に必要とされる「繁殖」についての知識を身につける。
6		栄養と飼料	学科試験に必要とされる「栄養と飼料」についての知識を身につける。
7		飼育と衛生	学科試験に必要とされる「飼育と衛生」についての知識を身につける。
8		施設と環境	学科試験に必要とされる「施設と環境」についての知識を身につける。
9		労働安全衛生	学科試験に必要とされる「労働安全衛生」についての知識を身につける。
10		疾病と感染	学科試験に必要とされる「疾病と感染」についての知識を身につける。
11		遺伝子改変動物作製技術	学科試験に必要とされる「遺伝子改変動物作製技術」についての知識を身につける。
12		動物実験の基本	学科試験に必要とされる「動物実験の基本」についての知識を身につける。
13	学科試験対策 (各論)	マウス、ラット	学科試験に必要とされる「マウス・ラット」についての知識を身につける。
14		その他の齧歯類 (ハムスター類、スナネズミ)	学科試験に必要とされる「その他齧歯類」についての知識を身につける。
15	まとめ		

科目名	応用実験動物学Ⅱ	履修時期	2年	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	実験動物や動物実験に関して幅広い視点から考えられるようになること。				
教育内容	この科目の大きな目的は、実験動物2級技術者資格認定試験実地試験に合格しうる知識と技術を身につけることです。また、実際に実験動物技術者として日々仕事をされている方々を講師にお招きしてご教授いただき、社会に出てから役に立つ応用力を身につけてもらいます（対面での実技試験が行われる場合に実施）。実験動物技術者としての実践力を身につけましょう。				
教科書・教材	実験動物の技術と応用 入門編（増補改訂版）、基本的な動物の取り扱い				
評価法	定期試験、出席状況、資格試験の可否による総合評価				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	実技試験対策	成熟動物ケージ交換	成熟動物のケージ交換を適切にできるようにする。
2		成熟動物雌雄判別	成熟動物の雌雄判別を間違えずにできるようにする。
3		授乳動物と乳子のケージ交換	授乳動物と乳子のケージ交換を適切にできるようにする。
4		乳子の雌雄判別	乳子の雌雄判別を間違えずにできるようにする。
5		マウス処置馴化法	マウスの処置馴化が短時間で適切にできるようにする。
6		マウス薬剤投与方法(1)	マウスの経口投与、腹腔内投与が適切にできるようにする。
7		マウス薬剤投与方法(2)	マウスの皮下投与、筋肉内投与が適切にできるようにする。
8		ラット処置馴化法	ラットの処置馴化が短時間で適切にできるようにする。
9		ラット薬剤投与方法(1)	ラットの経口投与、腹腔内投与が適切にできるようにする。
10		ラット薬剤投与方法(2)	ラットの皮下投与、筋肉内投与が適切にできるようにする。
11	実技筆記試験対策	実験動物用器材の名称と用途	実験動物用器材の名称と用途を覚える。
12		その他	実験動物用器材以外の実技筆記試験に出題される内容を覚える。
13	まとめ	実技試験（模擬試験）	本番で要求される技術を身に付けているかどうかを確認する。
14		実技筆記試験（模擬試験）	本番で要求される知識を身に付けているかどうかを確認する。
15	総まとめ	実技筆記試験・実技試験	本番へ向けての最終チェックを行う。

科目名	応用実験動物学 I 実習	履修時期	2 年	実務経験のある教員科目	○
授業方法	実習	授業単位	1 単位	授業時間	45 時間
教育目標	1 年生で学んだ基礎実験動物学実習の技術を基礎とし、その技術の応用と実践を体験する。				
教育内容	この実習の目的は 3 つあります。1 つは、実験動物 2 級技術者資格認定試験の実技試験に合格しうる技術力を身につけること。2 つ目は、将来を見越し、実験動物 1 級技術者資格認定試験を受験しようとする卒業生がスムーズにその準備に入っていけるようにすること。そして、最も大事な 3 つ目は、社会人として、実験動物を扱う技術者としての心構えを学ぶことです。この実習は、学校の施設で実現可能な最高の環境で、実験動物業界で活躍している卒業生にも指導を受けながら、実習が進んでいきます。当然のことながら実習はハードなものとなりますが、実験動物に興味のある方にとっては、充実度が高いものになると思っています。また、動物看護コース学生の選択者にも有意義な内容となるように、工夫をしております。				
教科書・教材	実験動物の技術と応用入門編（増補改訂版）、基本的な動物の取り扱い、高度実験動物技術者養成実習テキスト（マウス・ラット・その他齧歯類）、実験動物高度技術者養成研修会実習テキスト（ウサギ）				
評価法	出席状況、授業中に実施する実技試験による総合評価				
成績評価	80 点以上を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可で表し、60 点未満は不可とする。				

#### 授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	マウス	処置馴化 薬剤投与方法	処置馴化が短時間で適切にできるようになる。 IP、PO、SC がしっかりとできるようになる。
2		尾静脈投与 頸静脈採血	尾静脈投与の手技を覚え、できるようになる。 頸静脈採血の手技を覚え、できるようになる。
3		麻酔剤の計算 麻酔剤の調製	麻酔剤の計算法を適確にできるようになる。 麻酔剤の調製を適確にできるようになる。
4		去勢手術(精管結紮)	外科処置を自ら行い、手術の流れを理解する。
5	ラット	解剖(1)	雄の解剖を行い、雄の生殖器を中心に臓器を確認する。
6		解剖(2)	雌の解剖を行い、雌の生殖器を中心に臓器を確認する。
7		処置馴化 薬剤投与方法	処置馴化が短時間で適切にできるようになる。 IP、PO、SC がしっかりとできるようになる。
8		尾静脈投与 頸静脈採血 スメア標本の作製・観察	尾静脈投与の手技を覚え、できるようになる。 頸静脈採血の手技を覚え、できるようになる。 スメア標本を作製して、性周期の判定を行えるようにする。
9	ウサギ	卵巣摘出術	外科処置を自ら行い、手術の流れを理解する。
10		解剖	解剖を行い、ラットの解剖学的特徴を理解する
11		取扱方法 薬剤投与方法 気管内挿管	基本的な取扱いができるようになる。 PO、IM、ID、IV がしっかりとできるようになる。 気管内挿管を体験する。
12		解剖	解剖を通して、草食動物の体の特徴を理解する。

科目名	応用実験動物学Ⅱ実習	履修時期	2年	実務経験のある教員科目	○
授業方法	実習	授業単位	1単位	授業時間	45時間
教育目標	1年生が実験動物の基本的な取扱方法を習得するサポートをすることにより、技術の伝達技術とコミュニケーション能力を磨く。				
教育内容	2年生が1年生の技術指導をする形で、実習が進んでいく。1年生を担当する2年生は固定して、2年生は責任をもって1年生の指導にあたる。				
教科書・教材	実験動物の技術と応用 入門編（増補改訂版）、基本的な動物の取扱い				
評価法	定期テスト、出席状況による総合評価				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	動物の基本的取扱い	個体識別法・尿検査・体重測定	マウスに触れ、個体識別法、体重測定法、尿検査法を経験する。
2		処置馴化、保定、薬剤投与方法(1)	マウスの処置馴化、保定法、薬剤投与方法(IP・SC)を経験する。
3		薬剤投与方法(2)	マウスへの薬剤投与方法(IP・SC・PO)を経験する。
4		薬剤投与方法(3)	マウスへの薬剤投与方法(IP・SC・PO・IV)を経験する。
5		薬剤投与方法実技試験	マウスへの薬剤投与方法の実技試験で、自分の技術を確認する。
6		馴化、保定、薬剤投与方法(1)	ラットの処置馴化、保定法、薬剤投与方法(IP・SC・PO)を経験する。
7		薬剤投与方法(2)	ラットへの薬剤投与方法(IP・SC・PO)を経験する。
8	手術法	麻酔薬の調製法、麻酔の観察	麻酔薬の調製法を理解する。また、動物に麻酔をかけ、麻酔状態を観察する。
9		縫合と結紮、採血法	縫合と結紮を経験する。心臓採血(全採血)の練習をする。
10		手術	マウス脾臓摘出術を経験する。
11		全採血と解剖	マウスの全採血を経験する。動物の体のしくみを理解する。
12	標本の観察	血液塗抹標本の作製、Ht測定	血液塗抹法・染色法を習得するとともに、Ht測定を行う。
13		血液塗抹標本の観察	血液塗抹標本を観察して、血液細胞の形態の基礎を理解する。
14		組織標本の観察	組織標本を観察して、各種臓器の特徴について理解する。

科目名	放射線概論	履修時期	2年	実務経験のある教員科目	
授業方法	講義	授業単位	1単位	授業時間	30時間
教育目標	第2種放射線取扱主任者の試験に合格する基礎知識を修得する。				
教育内容	第2種放射線取扱主任者に合格するため、過去問題を演習問題として事前に解答してもらい、授業ではそれをもとに問題の解説を行う。また、これらの重要ポイントについて、整理して理解することを促す。				
教科書・教材	初級放射線、放射線障害の防止に関する法令概説と要点、プリント等を使用				
評価法	定期試験、授業時間内の演習解答状況、出席状況、授業への参加度				
成績評価	80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。				

授業内容（シラバス）

回数	大項目	中・小項目	学習目標
1	物理学のうち放射線に関する課目	物理学問題演習（1）	物理学のうち放射線に関する課目の問題解説
2		物理学問題演習（2）	物理学のうち放射線に関する課目の問題解説
3		物理学問題演習（3）	物理学のうち放射線に関する課目の問題解説
4	化学のうち放射線に関する課目	化学問題演習（1）	化学のうち放射線に関する課目の問題解説
5		化学問題演習（2）	化学のうち放射線に関する課目の問題解説
6		化学問題演習（3）	化学のうち放射線に関する課目の問題解説
7	生物学のうち放射線に関する課目	生物学問題演習（1）	生物学のうち放射線に関する課目の問題解説
8		生物学問題演習（2）	生物学のうち放射線に関する課目の問題解説
9		生物学問題演習（3）	生物学のうち放射線に関する課目の問題解説
10	実務に関する課目	実務問題演習（1）	実務に関する課目の問題解説
11		実務問題演習（2）	実務に関する課目の問題解説
12		実務問題演習（3）	実務に関する課目の問題解説
13	法律に関する課目	法令問題演習（1）	法律に関する課目の問題解説
14		法令問題演習（2）	法律に関する課目の問題解説
15	まとめ		